

文部科学省委託

「令和2年度幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」

# 幼児教育と小学校教育9年間の学びをつなぐ

～中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校の取組を通して～



中央区教育委員会



中央区立晴海幼稚園



中央区立月島第三小学校

# 目次

本ブックレットの使い方	1
<b>第二章 資料</b>	2
令和2年度 校園内研究日程表	3
研究推進だより	4
中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校 相互参観計画	5
令和元年度 保育所見学一覧表	6
第2回研究保育 視点メモカード	7
3年保育4歳児いるか組・あしか組 保育指導計画案	8
第1学年 生活科学学習指計画導案	12
<b>第三章 資料</b>	21
9年間の目指す子ども像	22
対話を深めるツール	24
<b>第四章 資料</b>	27
第5学年 総合的な学習の時間 学習指導計画案	28
4歳児・第5学年 合同指導計画案	32
<b>第五章 資料</b>	33
接続カリキュラムの見方	33
中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校 接続カリキュラム	34
中央区立月島第三小学校 入学当初のカリキュラム	36
<b>付録</b>	39
幼稚園指導計画の見方	39
中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（3歳児）	40
中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（4歳児）	42
中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（5歳児）	44
●●●●●●●●	46
中央区立月島第三小学校 生活科・総合的な学習の時間と他教科横断計画	48
令和3年度 中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校・近隣保育所 交流計画	50
<b>DVD チャプター</b>	裏表紙

## 本ブックレットの使い方

本ブックレットは、DVD「令和2年度幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究幼児教育と小学校教育9年間の学びをつなぐ中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校の取組を通して」に収録されている資料やその解説等を収録しています。

貴校・貴園での実践に活用してください。

なお、資料は、本研究の協力校・協力園で実践したものです。実施する学校・園の実態に応じてご活用ください。

各ページに入っている赤字部分はその資料を説明するものです。参考にしてください。

# 第二章 資料



幼児や児童の姿を話し合う、小学校教員と幼稚園教員

幼稚園、小学校だけでなく、近隣の保育所とも連携が図れるように、保幼小を含めた年間研修計画を作成しました。

## 令和2年度 校園内研究日程表

中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校

	実施日	実施内容	会議の状態	講師（役職・氏名）
1	6月25日（木）	今年度の研究について （文書にて周知）	各自	
2	7月27日（月）	講演 （幼小接続について）	オンライン	聖徳大学 教授 河合優子先生
3	6月中	学年毎の指導計画検討 （今年度の臨時計画 来年度の計画）	学年	
4	10月5日（月）	低学年研究授業 （スタートカリキュラム後の児童の様子） ※生活科	全員 保育所	松蔭大学 教授 山下文一先生
5	11月18日（水）	研究保育①年中	幼稚園	聖徳大学 教授 河合優子先生
6	11月24日（火）	中学年研究授業 （カリキュラムデザインによる 他教科と横断した授業） ※総合的な学習の時間	小学校	松蔭大学 教授 山下文一先生
7	12月2日（水）	高学年研究授業 （カリキュラムデザインによる 他教科と横断した授業） ※総合的な学習の時間	小学校	松蔭大学 教授 山下文一先生
8	12月23日（水）	研究保育②年少	幼稚園	聖徳大学 教授 河合優子先生
9	1月中	指導計画再検討 （来年度に向けたカリキュラムデザイン）	分科会	
10	2月26日（金）	研究保育③年長 （アプローチカリキュラム実践）	全体 保育所	松蔭大学 教授 山下文一先生
11	3月中	研究のまとめ （来年度に向けて）	全体	
12	3月中	接続期カリキュラム検討会 （保幼小）	接続期部 保育所	松蔭大学 教授 山下文一先生

中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校

# 研究推進だより



令和元年5月27日（月）

## No. 3

### 《第2回研究保育・授業》

① 実施内容詳細

令和元年5月29日（水） 13：00～14：00

保育者 5歳児かもめ組 ○○ ○○

5歳児くじら組 ○○ ○○

保育会場 幼稚園保育室

② 保育の視点

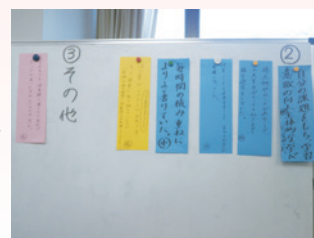
指導案を参照

③ 視点への意見の整理の仕方

- ・視点ごとに改善点、良かった点、質問を各自でメモをしてください。
- ・分科会ごとに、短冊（\*）にまとめ、ホワイトボードに掲示します。  
（改善点－ピンク、良い点－青、質問－黄色）
- ・短冊意見をもとに、協議を進めます。

#### ★保育の見方★

- ・事前に提示された視点メモカードの観察の視点によって観察してください。（○ページ参照）
- ・必要に応じて幼児の目線の高さにあわせて観察してください。



### 《研究次第》

- 〈1〉研究保育……………13：00～14：00
- 〈2〉分科会協議……………14：00～14：30
- 〈3〉全体会（図書室）
  - ① 校長・園長挨拶・講師紹介……………14：30～
  - ② 協議会……………14：40～  
分科会提案／授業者自評  
協議（視点の集約から協議を進行）  
（講師助言）……………14：50～
  - ③ 指導講評……………15：20～  
松蔭大学 コミュニケーション文化学部 教授 山下 文一 先生
  - ④ 謝辞……………15：50～
  - ⑤ 事務連絡……………15：55～
- 〈4〉次回研究授業者指導・相談（校長室）……………16：00～

#### 参観前の配慮点

○幼稚園

- ・前日までの保育の様子分かるような写真を掲示する。
- ・小学校職員朝会にて、園長が幼児の実態、研究保育のねらい、内容等について保育の様子について伝える。

○小学校

- ・単元の系統図を掲示する。
- ・本時の具体的な手だて、声掛け等の例示を掲示する。



時間帯や曜日を工夫した上で、本計画を作成し、相互に保育、授業を参観し理解を深める「参観ウィーク」を設定しました。

## 中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校 相互参観計画

令和2年10月7日

幼稚園、小学校双方の教育のあり方を理解するために、園長、副校長による解説を含めた保育・授業公開を行います。

小学校教員は、今年度異動してきた先生方は必須で、他の先生方は授業の都合に合わせてご参観ください。

### 《小学校参観》

	10月21日（水）5校時 6年3組 授業者 ○○	10月28日（水）5校時 1年3組 授業者 ○○
幼稚園 参観者		

翌月に研究保育を行う予定であり、その保育とのつながりを感じられる日程を設定しました。

### 《幼稚園参観》

	10月20日（火）	10月23日（金）	10月26日（月）	10月30日（金）
2時間目				
3時間目				

### 相互参観計画を立案する際の配慮点

- 幼稚園
  - ・幼稚園の週案を小学校職員室におき、参観する前に目を通せるようにした。
- 小学校
  - ・授業参観前に、副校長より幼稚園教員に対し、授業について解説した。

地域の保育所等の子どもたちの実態を知るために、夏季休業期間中に「保育所見学デー」を設定しました。

## 令和元年度 保育所見学一覧表

保育所名	8月26日(月)		8月27日(火)		8月28日(水)		8月29日(木)		8月30日(金)		見学可能時間帯
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
晴海保育園											10:00～12:00 以外
ポピンズナーサリー スクール晴海											10:00～12:00 年長組 15:30～17:00 帰りの時間・ 異年齢保育
アスク晴海 3丁目保育園											
月島聖ルカ保育園											10:00～11:00 を中心
さくらさくみらい 月の岬											28日午前中以外 (外部講師招聘)
晴海こども園											
アスク晴海保育園											13:00～15:00 以外
小学館アカデミー 晴海保育園											

幼稚園、小学校教員が参観し  
やすい日程を設定しました。

各保育所等の予定を把握し可  
能な時間を設定しました。

### 保育所見学を計画する上で配慮したこと

- ・多くの教員が参加しやすいように、夏季休業中の期間に設定した。
- ・保育を見る視点を提示した。
  - 1、保育のねらい、手だて、声掛け、支援、個別の支援、チーム保育（役割分担等）
  - 2、施設の様子（生活している保育室や遊戯室、遊具や掲示物等）
  - 3、5歳児の様子（遊びの内容、一日の生活の流れ等）
  - 4、幼稚園と保育所の相違点



# 第2回研究保育 視点メモカード

令和元年5月29日

① グループの一員であるという意識や意欲をもって話し合いに臨むことができるような課題設定や援助がなされていたか。

教科や活動のねらいだけではなく、9年間の発達や学びの連続性を見通した目指す児童像を踏まえ、当該学年の育ちから協議を行いました。

晴海幼稚園教育目標  
〇ここに輝かない子 〇のびのび元気な子 〇楽し気な子

晴海幼稚園・月島第三小学校の研究

月島第三小学校教育目標  
〇よく考える子 〇心豊かな子 〇健康な子

### 対話を通して自ら考え、主体的に学ぶ幼児・児童の育成 ～幼児期の終わりにまで育ってほしい姿を踏まえた幼小接続の指導の工夫～

**幼児の現状**

- 〇やり方が決まっていると安心して行いが、自分で考えて行動することが苦手である。
- 〇高度な課題に挑戦したいところがあるが、言葉で表現できないところがある。

**教師の願い**

- 〇自分の思いを伝えながら、じっくりと遊ぶ楽しさを味わってほしい。

**幼児期の終わりにまで育ってほしい姿**

健康な心と体	自立心	協同性	継続性・挑戦意欲の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり 自然体験	数量・図形 文字	言葉による 伝え合い	豊かな感性 と表現

**児童の現状**

- 〇論議や表現力が十分でない児童があり、コミュニケーション能力に差がある。
- 〇二方向な学習はできるが、そこから考えを深めたり広げたりすることができない。

**教師の願い**

- 〇自ら課題を解決する力をつけ、他者との対話から自分の考えを深めてほしい。

**研究仮説** 幼小9年間を通して対話的な学びを重視する教育活動を展開すれば、自ら考え主体的に学ぶ幼児・児童が育つだろう。

	年少(3歳)	年中(4歳)	年長(5歳)	接続期 1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
<b>主体的に学ぶ児童像</b>	自分の思いを出しながら十分に遊びを楽しめる。	遊びの目的をもち、自分の力を出しながら、進んでいく。	友達とのつながりの中で課題を受けながら、自分の目的に向けて力を発揮して実現していく。	学習の発達しをもって、互いの意見を認め合い、自分の考えをもって活動できる。	学習の発達しをもって、互いの意見を尊重し合い、自分の考えをもって活動できる。	課題に対する自分の考えをもち、自分の考えと他者の考えの違いに気付くことができる。	課題に対する自分の考えをもち、自分や他人の考えの相違点を受け止め、自分の考えの相違点を明らかにすることができる。	課題に対する自分の考えをもち、自分や他人の考えの相違点を認め、自分の考えを再構築し、協同的に話し合いができる。	課題を自分で設定することができる。他者の考えとの相違点を認め、自分の考えの相違点を明らかにすることができる。	課題を自分で設定することができる。他者の考えとの相違点を認め、自分の考えの相違点を明らかにすることができる。
<b>対話の姿</b>	自分の思いを安心して表すことができる子	相手の思いに気付きながら、自分の思いを伝えることができる子	自分の考えを相手に分かるように伝えることができる子	自分の考えをもって対話し、自分なりに考えることができる子	自分の考えをもって対話し、さらに深く考えることができる子	対話から、自分と他の違いに気付くことができる子	対話から、自分と他の違いに気付く。自分の考えを深めることができる子	対話から、自分の考えを深めたり、広げたりし、自分の考えを再構築することができる子	対話から、自分の考えを深めたり、広げたりし、自分の考えを再構築し、協同的に話し合いができる子	対話から、自分の考えを深めたり、広げたりし、自分の考えを再構築し、協同的に話し合いができる子

環境の工夫      考えるための技法      **対話を深めるツール**      振り返りノート      トーキンググループ

② 自分の思いを出すことができるような援助ができていたか。

☆視点以外で、保育に関して意見がありましたら、分科会・保育者まで直接お渡しください。

名前 ( )

幼児教育、小学校教育、相互理解を深めるために工夫した指導案の一例です。

## 3年保育4歳児いるか組・あしか組 保育指導計画案

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、幼稚園教員と小学校教員が意見交換を行い、幼児期から児童期への発達の流れを理解しやすいようにしました。

令和元年11月6日（水）

13：00～13：45

いるか組 在籍：幼児29名

担任：〇〇 〇〇

あしか組 在籍：幼児29名

担任：〇〇 〇〇

### 研究主題

## 対話を通して自ら考え、主体的に学ぶ幼児、児童の育成 —幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた幼小接続の指導の工夫—

### 1. 活動名 「自然物を使って遊ぼう」

好きな遊びが多数展開される中で、観察対象の遊びを絞ることで、協議の視点に迫りやすくしました。

### 2. 週のねらい

- 木の実や落ち葉を使った遊びに興味をもち、自分なりに遊びに取り入れながら、自分のイメージを表現する楽しさを味わう。
- 友達とのかかわりの中で、自分の思いを出したり、相手の気持ちに気付いたりする。

### 3. 評価のポイント

- ・自分のしたい遊びを見付け、一人で取り組んだり、気の合う友達と取り組んだりしているか。
- ・友達とのかかわりの中で、自分の思いを出したり、相手の気持ちに気付いたりしているか。

### 4. 幼児の実態と教材設定の理由

小学校教諭のイメージをもちやすいように、「教材設定の理由」環境に込めた教師の願いをとして記述しました。

#### ○幼児の実態

- ・ごっこ遊びや製作など自分のしたい遊びに取り組む中で、イメージに応じて様々な物や場を作って遊ぶことを楽しんでいる。
- ・気の合う友達同士での遊びでは、自分の思いを動きや言葉で伝えようとしている。自分のやりたいことがはっきりしてきたことで、思いがぶつかることもある。
- ・運動会を経験し、5歳児の取組（チアダンス、応援団、リレーなど）に刺激を受けて、同じようにやってみようとする姿が見られる。
- ・遠足で拾い集めた木の実や落ち葉を使って遊ぶことに興味をもち始めている。

#### ○教材設定の理由

<どんぐりやまつぼっくり、落ち葉など>

- ・扱いやすく、見立てたり他の材料と組み合わせたりして、幼児の想像力を生かしながら遊びを楽しむことができる。幼児にとっては、これらの物を集めること自体が楽しい遊びの一つである。どんぐりの丸い形や落ち葉の色、数多く拾い集めることができるということが魅力である。
- ・本園では、毎年10月下旬頃に公園（年中組は新宿御苑）への遠足を計画し、幼児が実際に目で見て、手で触れて、匂いを嗅いで、音を聞いて秋の自然を体感できるようにしている。遠足という共通体験を通して味わったことを、園でのその後の遊びの中に生かせるように環境を工夫することで体験したことがより楽しい経験となると考える。

3歳児から、4,5歳児へと幼稚園3年間の学びの系統性を捉え、小学校低学年に向かう学びのつながりを明記しました。

## 5. 研究主題との関わり【幼稚園～低学年の学習のつながり】

### 【幼稚園】3歳児

#### 7 自然との関わり・生命尊重

・落ち葉や木の実などの自然物をいろいろなものに見立てたり、遊びに取り入れて遊んだりする。

#### 6 思考力の芽生え

・身近にある物で自分なりに作ったり描いたりすることや、作った物で遊ぶことの面白さを感じる。

#### 11 言葉での伝え合い

・自分の思いを自分なりの方法で出していく。

<自然物を使った遊び>

- ・どんぐりを使ったままごと遊び
- ・どんぐりのマラカス遊び など

### 【幼稚園】4歳児

#### 7 自然との関わり・生命尊重

・秋から冬への季節の変化に気づき、自然物を遊びの中に取り入れる楽しさを感じ、いろいろな方法で表現することを楽しむ。

・落ち葉や木の実を集めて、遊びながら色、形、大きさなどに興味をもつ。

#### 6 思考力の芽生え

・自分で材料を選び、試したり工夫したりしながらイメージを実現しようとする。

#### 11 言葉での伝え合い

・友達とのかかわりの中で、自分なりの思いを出して遊ぶ。

<秋の自然を使った遊び>

- ・どんぐりや落ち葉のアクセサリ作り
- ・落ち葉の形遊び ・どんぐり転がし
- ・どんぐりごま遊び など

### 【幼稚園】5歳児

#### 7 自然との関わり・生命尊重

・秋から冬への空気、空、雲の動き、木々の様子などから季節の移り変わりを感じ取る。

・落ち葉や木の実、芋のつるなどの自然物を工夫して使い、遊びに取り入れる。

#### 6 思考力の芽生え

・繰り返しいろいろ試す、考える、工夫するなどして遊びを楽しむ。

・遊びに必要な物を友達と相談しながら、適切な材料を探し、工夫して作る。

・友達の考えていることに気づき、その考えを受け入れる。

#### 11 言葉での伝え合い

・自分の思ったことや考えたことを、言葉で相手に分かるように伝える。

・仲間意識をもち、相談してルールを決めて遊ぶ。

<秋の自然を使った遊び>

- ・季節の果物などの絵画表現
- ・どんぐりを使ったゲーム作り
- ・芋づるのリース作り など

幼稚園教育は「遊びを通しての総合的な指導」を行っているが、ここでは、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」の中から本活動に関わる項目の主なものと、幼児の具体的な姿を明記した。小学校教員がイメージをもちやすくし、協議を進めやすいようにしました。

## 【小学校】低学年

## ○生活科

## 内容(6)

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

1年 「あきとなかよし」 2年 「おもちゃづくり」

## ○図画工作科

## 内容「表現」(1)ア

造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。

## ○国語科

## 目標 A「話すこと・聞くこと」

相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

## 6. 研究主題に迫るための手だて

## (1) 環境の工夫

- ・「やってみたい」と興味をもって取り組めるように、木の実や落ち葉などの材料を分類し、分かりやすい絵表示を付けて置く。
- ・遠足の写真や、木の実の種類を掲示する。
- ・他の幼児や教師が作った製作物をよく見える場所に飾っておく。
- ・積木やゴザ、仕切りなど、場をつくる用具を用意しておく。

## (2) 考える技法（幼児が考えるためのきっかけづくり）

- ・幼児がやろうとしているイメージが具体的になるように問い掛ける。
- ・うまくいかないときには、幼児が自分で考え取り組めるようにヒントを知らせたり、気付いたことを受け止め、認めたりする。

## (3) トーキンググループ（同じ興味をもった友達との関わり）

- ・作りたいものを幼児同士で教え合えるようにしたり、遊びのイメージを同じ場にいる幼児同士が共有できるように言葉を掛けたりして、幼児同士をつないでいく。
- ・遊び同士の関係性や幼児の動線を考えて、遊びの場を調整していく。
- ・思いがぶつかったときには、相手の気持ちに気付くことができるように教師がそれぞれの思いを整理する。

## 7 本日の流れ

8:45	10:30	11:00	11:45	12:55	13:30	13:45	13:50	14:10
登園 身支度 好きな遊び	片付け	学級活動	弁当準備	好きな遊び	片付け	歌	降園準備 降園	

## 8. 本時

## (1) 本時のねらい

- 木の実や落ち葉を使った遊びに興味をもち、自分なりに遊びに取り入れる。
- 友達とのかかわりの中で、自分の思いを出したり、相手の気持ちに気付いたりする。

## (2) 本時の展開

時間	幼児の動き	環境の構成 (○) 教師の援助 (☆)
13:00	○自分のしたい遊びを見つけて遊ぶ ・自然物を使った遊び ・チアダンス ・海賊ごっこ ・お家ごっこ ・製作 など	○「こうしてみよう」と幼児が思い付いたことや考えたことを幼児自身が試すことができるようにする。また、必要なものを自分で選び、遊びに使うことができるように自然物や素材に表示を付け、整理して置いておく。(どんぐり、まつぼっくり、空き箱、いろいろな種類の紙、テープ、モール) ○同じ場の友達と同じイメージで遊びを展開していくことが分かるように、持ったり身に付けたりできるような物を用意する。(ポンポン、スカート、カセットデッキ、テープなど) ○同じ遊びをしている仲間だということが意識付けられるように、積木、ついたて、ござなど遊びの場をつくるようにする。 ☆「どうやってつくったの」「これをどうやって使うの」と問い掛け、イメージや考えを言葉で表せるようにする。幼児の言葉を肯定的に受け止める。 ☆友達と一緒に遊ぶ楽しさに共感したり見守ったりして、一緒に遊んだ満足感や、またやってみようという気持ちをもてるようにする。 ☆イメージの違いから起きるトラブルに対しては、教師がそれぞれの思いを整理して伝えて相手の気持ちに気付くことができるようにしたり、新たな考えを提案したりする。
13:30	○片付けをする	☆同じ形や大きさの物を重ねて運んだりする姿を認め、全体に声掛けすることにより、集中して取り組めるようにする。 ☆同じ場で遊んでいた友達と、次の日の遊びに期待をもちながら声を掛け合って片付ける姿を認める。
13:45	○歌を歌う	☆みんなと声がそろって心地よさを感じられるようにする。

様々な遊びが展開されている中、遊びの理解を深めるために観察対象の遊びを絞りました。

# 第1学年 生活科学習指導計画案

令和元年9月13日（金）第5校時  
中央区立月島第三小学校  
第1学年2組 30名  
授業者 ○○ ○○  
場所 第1学年2組 教室

## 研究主題

**対話を通して自ら考え、主体的に学ぶ幼児、児童の育成**  
—幼児期の終わりまでに育ててほしい姿をふまえた幼小接続の指導の工夫—

### 1. 単元名 「あさがおさんとなかよし」

### 2. 単元の目標

- ① あさがおの育つ様子を見ながら、生長に応じた継続的な世話をすることができる。
- ② 育ててきたあさがおが生長し、花を咲かせたことを喜ぶことができる。また、これからも継続して世話をしようという意欲をもつことができる。
- ③ 自分たちで育ててきたあさがおの種を新1年生へのプレゼントとして準備することができる。

### 3. 観点別評価規準

ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
<ol style="list-style-type: none"><li>① あさがおの栽培に関心をもち、きれいな花を咲かせたいと願っている。</li><li>② あさがおの育つ場所、変化や生長の様子に関心をもち、水やりなどの必要な世話をし繰り返し関わっている。</li><li>③ あさがおとの思い出を振り返り、枯れた後のあさがおも大切にしたいという思いをもっている。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>① あさがおの生長に合った世話を考えることができ、あさがおの生長を自分なりの方法で表現している。</li><li>② あさがおの日々の変化から生長について考え、あさがおの立場に合った世話の仕方を工夫している。</li><li>③ あさがおの生長の様子や世話をした時に気付いたこと、感じたことなどを絵や文で表現している。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>① あさがおの生長に合った世話の仕方があることに気付いている。</li><li>② あさがおは生命をもっていることや、生長していることに気付いている。</li><li>③ 世話をしたことであさがおが育ったことや、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。</li></ol>

### 4. 児童の実態と単元設定の理由

#### ○単元観

本単元は、(7)「動植物の飼育・栽培」に示されている内容であり、児童が自らの手で継続的に飼育・栽培活動を通して、身近な動植物に興味・関心をもち、それらが生命をもっていることや生長していることに気付くとともに、動物や植物を大切にすることができることを目指している。

飼育・栽培活動として、今年度は、あさがお・マリーゴールド・ふうせんかずら・オシロイバナ等を育ててきている。その中で、児童たちは、あさがおが一番興味をもち、熱心に栽培を行ってきた。あさがおは、種から色とりどりの花になるまでの育てる喜びを味わえることと同時に、やがて花が咲き終わり、枯れてまた新たな命として種ができるという命のサイクルを見ることができる。あさがおは生長の速度が速く、変化を感じ取りやすい植物の一つである。また、栽培過程では、咲いた花を使って色水遊びや押し花、叩き染めなどの遊びができることを学習することができる。このような理由から、全員で行う栽培活動の植物をあさがおに決めた。

本単元は、4月から長期間にわたって取り組むため、学習のルールも踏まえながら、国語科や算数科、図画工作科などとの合科的・関連的な指導を入学期から段階的に行う。また、あさがおにたくさん触れる機会を多くもち、あさがおへの興味が深まっていくようにするために、栽培場所の設定の工夫をし、他教科でもあさがおについて触れる機会を設ける。そして、どのような活動をするのか、どのようなことに気付けばいいのか等に見通しをもつことができるように、キーワードを示し、1年生としての対話的な学びを行う。これらのことを通して、生命あるものへの尊さや、変化や生長に喜びを感じ、自分の思いを身近な人に発信できるようにさせたい。

授業では、あさがおを観察した後、あさがおカード（※1）に自分の思いを表現する活動を行い、また次の体験的な学習へと双方向の学習を行っている。あさがおカードには、児童とあさがおを対話させる場、その時のあさがおの様子を絵や言葉で表せるような設定をした。言葉での表現については、国語の「おおきくなった」の学習で観察の観点や書き方を指導し、詳しく分かりやすい文で記録させるようにする。

本単元では、あさがおの学習を通して、世話を続けたことで花や種がなったことに気付かせるとともに、あさがおとの対話を通して、あさがおへの感謝を伝えたり、大切に育てたりする態度を養わせる。本時では、そのあさがおへの感謝や大切に育ててきた思いを、プレゼントを通して新1年生にどのようなことを伝えるのか考える活動を行う。

### ○児童観

本学級の児童は、明るく前向きで、落ち着いて学習に取り組む児童が多い。また、新しいことへの興味や関心を強く抱く児童が多い。今まで花や野菜を育ててきたことがある児童は29人中24人と多い。その中で、幼稚園や保育園で友達と育てたことがある児童は多くいた。併設している晴海幼稚園では、学級全体で植物を育てている。また、一人で栽培した経験がある児童も15人とクラスの半分以上いた。一方、今まで植物を育てたことのない児童もいる。児童によって、植物の栽培の知識や経験値が異なることが分かる。本単元で栽培するあさがおでは、経験から推測できることができる部分もあったり、初めて経験することに出くわしたりすることもある。困難に直面したときには、児童は友達同士で対話を通して解決したり、教師に聞きに行ったりする姿が多く目立った。

毎日の朝の水やりを通してあさがおへの愛着が徐々に増え、毎朝教室に来ると、あさがおの様子を観察する児童が増えてきた。愛着をもたせるために、種を植えるときにあさがおに名前を付けさせた。自分のぬいぐるみやペットに名前を付けるように、あさがおに名前を付け、“自分だけの存在”として意識させるねらいがある。水やりの時には、自分で付けた名前を呼んで、「○○ちゃん、今日も元気？」といった声掛けが見られた。また、つるが支柱より伸びた時には、「どうしたらいいのかな？」「このまま伸ばし続けてもいいのかな」「自分と背比べしたい」といった考えや意見があった。児童だけで答えが出せない時には教師へ質問をし、つるを切ることを提案されると、「つるを切ったらあさがおさんがかわいそうだよ。」「このまま伸ばしておきたいよ。」と、あさがおを大切にやる心やあさがおを思いやる心をもった児童が多くいることが伺えた。

学級には、あさがおを観察する際に、あさがおの生長に気付くようになってきている児童、思いを絵や文であさがおカードに明瞭に表せるようになってきている児童、友達の思いつかないような気付きや表現ができるようになってきた児童がいる。その反面、気付いたことや思いを上手く表せない児童もいる。したがって、このような児童には、観察の際には、観点を提示したり、友達と情報共有したりする手だてを設ける。

あさがおの栽培を通して、あさがおの世話や、世話を続けるとあさがおが変化していく様子を楽しんだり、世話の仕方を工夫したり、あさがおのことを友達や教師など身近な人に伝えたりできることを目指す。

## ○教材観

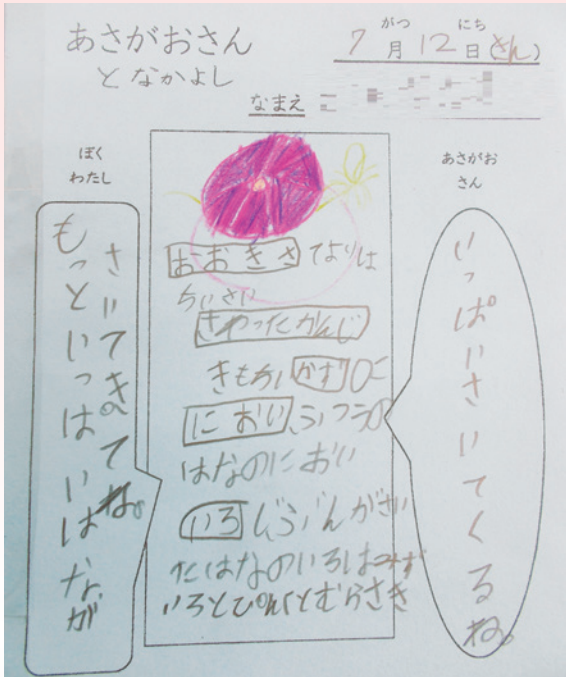
(活動場所について)

普段、あさがおはベランダで栽培をしている。観察するときにはあさがおを教室の自分の近くに置いたり、児童がベランダにあるあさがおの近くに行ったりして観察を行う。

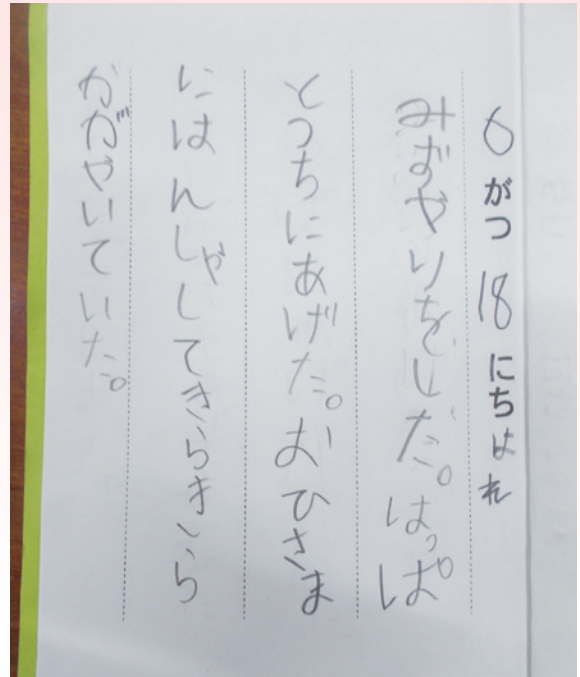
(教材について)

児童間、児童とあさがおとの対話をする際に以下の3つを手だてとした。

- ・あさがおカード(※1) ・あさがお日記(※2) ・あさがおでんわ(※3)



※1…左枠に児童があさがおに掛ける言葉、中央に観察したあさがおの絵や様子右側にあさがおから児童への返事を書く。



※2…日々のあさがおの様子や日々の変化について気付いたことを書く。



※3…頭に付けてあさがおと対話を図る。毎日の水やりや観察時に用いる。



※4…あさがおの茎や葉、花の様子を詳しく観察する。

上記の3つに加え、あさがおを詳しく観察するための「みるみるめがね(※4)」や、あさがおに関する本を教室に置いた。児童は朝や休み時間に自分からそれらを手に取り、あさがおのことを詳しく知ろうとする様子が伺えた。児童は「みるみるめがね」を使って、花の中や葉、茎の様子を観察した。「はっぱがざらざらしているのははっぱに小さな毛が生えているからだ!」と新たな発見をし、友達に伝えることもできた。また、一つの本を友達と一緒に読んで、「私のあさがおさんにもあったよ。」「ぼくも。」と、本から得た情報を友達と話したり、自分の生活に還元したりする様子も見られた。



本資料を活用することで、幼稚園教員は、幼児教育と小学校教育のつながりが分かり、小学校教員は、幼稚園の遊びにおいて育まれてきた、資質・能力を生かした指導方法を考えることができます。

## 5. 研究主題との関わり

幼稚園で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に入れて組み立てられた指導内容を元に、小学校の当該学年での各教科とのつながり、第1学年以降の学習の系統について示しました。

【幼稚園等～低学年～中学年以降の学年の学習のつながり】

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育むの内容

### ○幼稚園等

#### 7 自然との関わり・生命尊重

自然との関わりの中で、様々な生物に出会い、自然の変化に気付き、感動するようになる。そして、植物や動物を命ある存在と認め、それぞれの生活に気付き、その生き様に感情移入し、愛おしく思い、小さな命とその生活を大切にしたいという気持ちをもつようになる。

#### 9 言葉による伝え合い

教師や友達と心を通わせる中で、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

#### 10 豊かな感性と表現

諸感覚を通して人が身の回りの事物の存在や特性に気付き、事物を使用し自分以外に対して表すことで、友達と一緒に表現を楽しみながら、一人一人の感性と表現が異なることに気付き、互いを受け入れていくようになる。

### 幼稚園等での学び

校庭や公園等で、様々な生物に出会う経験をする。植物や動物を育て、それぞれの生活の様子を観察したり、大切にしたいと考えたりする。

植物を育てる中で、本や図鑑で見たことや、水やりしたときに感じたことを友達と豊かな言葉や表現で伝え合う。

野菜を触ったり、匂いを嗅いだり、食べたりしたときに感じたことを友達に表現し、それぞれの表現が異なることに気付き、互いを受け入れていく。

### ○小学校低学年

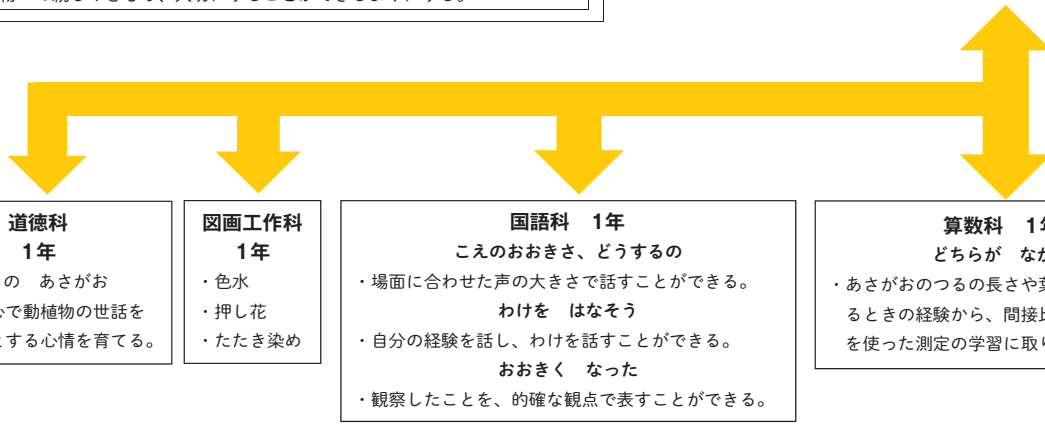
#### 生活科の内容(7)「動植物の飼育・栽培」

・動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や生長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや生長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

### 小学校低学年での学習

1年：あさがおなどの植物の栽培、メダカなどの動物の飼育  
2年：ピーマンやなすなどの野菜の栽培

該当学年における他教科とのつながり



今後の学習の系統性

### 総合的な学習の時間 3年

サツマイモはかせになろう！！

・1年生であさがおを育てた経験や2年生で野菜を育てた経験を基にサツマイモを栽培する。  
・サツマイモについて興味をもったことや知りたいことをインターネットなどから調べ、まとめたことを発表し合う。

### 理科 3年

植物をそだてよう

・1年生であさがおを育てた経験や2年生で野菜を育てた経験を基に、ヒマワリやホウセンカを栽培する。

### 5年

生命のつながり

・あさがおの栽培に必要なものが日光と水であることに気付いたことを基に、発芽や成長の条件を調べる。  
・花の中に白いものがあることに気付いたことを想起させ、花のつくりを詳しく観察する。  
・花ができたあとに種ができたことを取り上げ、実や種子のでき方について詳しく学習する。  
(※5年、大日本図書の生命のつながりの導入では、あさがおのつぼみ、花や実、種の写真が導入部分で掲載されている。)

### 6年

植物の成長と日光、水の関わり

・あさがおの成長に日光が必要であることに気付いたことから、植物と日光の関係性を深く学習する。  
・あさがおのつるを切ったときに白い液が出たことに気付いたことから、その水分がどこから来たものなのかといった、植物と水との関係性を深く学習する。

### 算数科 2・3年

長さをはかろう

・あさがおのつるの長さや葉の大きさを測るときの経験(間接比較や任意単位による測定)を基に、学習に取り組む。

### 3年

ぼうグラフと表

・あさがおの花の色の種類を一つの表にまとめた経験から、学習に取り組む。

幼稚園教育は「遊びを通しての総合的な指導」を行っているが、ここでは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中から本単元に関わる項目の主なものと、幼児の具体的な姿を明記し小学校教諭がイメージをもちやすくし、協議を進めやすいようにしました。

ここでは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中から本単元に関わる項目の主なものを明記した。小学校教諭が幼児期の経験を生かし、発達の連続性をもたせた授業展開ができるようにしました。

## 6. 研究主題に迫るための手だて

### (1) 環境の工夫

- ・あさがおの生長の様子が分かる写真を掲示する。
- ・あさがおのことをすぐに調べられるように教室内にあさがおに関する本を置く。
- ・どの色の花が咲いたか、色ごとに数を視覚的にまとめる。
- ・あさがおについての疑問や気付いたこと、感じたことをまとめ、掲示する。

### (2) あさがおカード（振り返りノート）

対話の中には、対話的活動がある。対話的活動とは、児童同士の協働、教師との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める活動や、他者との協働や伝え合い、交流する活動により、児童の学びを質的に高める活動がある。このような対話的活動を通して、自分の考えをもつことができるようにする。本單元における対話的活動の中には、次の3点が挙げられる。

- ① 自分とあさがおとの対話（教材との対話）
- ② 友達との対話（人との対話、(3)の手だて）
- ③ 自分と自分との対話（自分自身との対話）

があると考えられる。まず、①の対話には「あさがお日記（※2）」に言葉で書く場を設けた。毎日のあさがおとの関わりを言葉で振り返らせる。②の対話には、「あさがおカード（※1）」を用いた。「あさがおカード」では、朝の水やりの際にあさがおと対話をしたり、普段のあさがおの観察や世話の中であさがおと対話をしたりしたことを書くようにしていく。その際に、個々で作成した「あさがおでんわ（※3）」をかぶって身体表現をしたり、あさがおの気持ちを考えたりする。「あさがおカード」を書く場面でなくとも、あさがおと対話するよう声掛けをした。また、あさがおとの対話を通して、優しい心や大切に世話をする心情を育ませる。

### (3) トーキンググループ

「ぼく・わたしのあさがおさん」と題し、自分のあさがおの様子を伝える場を設け、互いのあさがおの育ち具合に関する情報をやり取りし、日常的に交流する。友達同士で自分の思いや考えを表現したり、伝え合ったり、協力したりして自分の考えを広げたり深めたりするなど、対話的な学びを展開しながら、あさがおや自分自身への行動などに対する気付きの質を高め、栽培活動を豊かにしていく。また、友達や教師に伝え、表現しながら、自分と友達のあさがおを比較して共通点や相違点に気付いたり考えたりすることで、今後のあさがおの世話につなげる。授業内では、積極的に友達との交流の時間を設けたり、全体で考えを共有したりして、自分の考えを深めることができるようにする。

## 7. 指導計画・評価計画（全19時間）

時	小単元	目標	学習活動等	主な評価規準（評価方法）
1・2	あさがおさんとなかよし①	・土作りや植え方の方法が分かり、種を植えることができる。	・土作り、種まきをする。 ・あさがおカードを書く。継続的に世話をする。	【関】あさがおに関心をもってかかわろうとしている。（行動観察） 【思】育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。（発表） 【気】毎日の水やりを継続することで、種から芽が出ることに気付いている。（行動観察・対話）
3・4・5		・あさがおの育つ様子を見ながら、支柱立て、草取りなど、生長に応じた継続的な世話をすることができる。	・芽が出た様子を観察し、あさがおカードに書く。 ・どんな世話が必要か考え、世話をする。 ・支柱を立てる。	【関】あさがおの生長を楽しみながら、世話を続けようとしている。（行動観察） 【思】あさがおの生長に合った世話を考えることができ、あさがおの生長を自分なりの方法で表現している。（学習カード）
6・7		・あさがおの葉や茎の様子を観察することで、あさがおの生長に気付き、これからの生長に関心をもつことができる。	・あさがおを観察し、あさがおカードに絵や文を記入する。 ・あさがおの葉や茎の様子を友達と紹介し合う。 ・水やりを仕方や量について考える。	【思】諸感覚を使って観察し、記録をしている。（学習カード） 【思】気温が高い日には多めに水をやるなど、あさがおのことを考えて世話をしている。（行動観察・対話） 【気】あさがおの生長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の生長に気付いている。（行動観察・つぶやき）
8・9・10	あさがおさんとなかよし②	・育ててきたあさがおが生長し、花を咲かせたことを喜ぶことができる。また、これからも継続して世話をしようという意欲をもつことができる。	・あさがおの世話をしている、気付いたことを発表し合う。 ・あさがおのつぼみや花を観察する。 ・気付いたことをあさがおカードに記入し、発表し合う。	【関】つぼみが付き、花が咲くことを楽しみにして世話をしようとしている。（行動観察） 【思】生長した喜びを表現している。（学習カード） 【気】小さな種から大きな花や実ができることに気付いている。（行動観察・つぶやき）
11			・実や種ができたならどうしたいかを考え、今後の計画を立てる。	【関】実や種ができたならどうしたいかを考え、生長を心待ちにしている。（発表） 【気】世話を続けたことで、あさがおが生長したことに気付いている。（行動観察・つぶやき）

12 ・ 13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の育てたあさがおや身の回りの草花を使って、いろいろな遊びを工夫し、楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ててきたあさがおの花や実や身の回りの草花を使って、どんな遊びをしたいか考える。</li> <li>・遊びを決め、色水、色染め、押し花、たたき染めで遊ぶ。</li> </ul>	<p>【関】植物の花や実を使って遊ぼうとしている。(行動観察)</p>
14 ・ 15 (本時) ・ 16	あさがおさんとなかよし③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ててきたあさがおの種とりを喜び、新1年生に種のプレゼント作りをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさがおの種とりをする。</li> <li>・あさがおの種ができたことに感謝し、感謝の気持ちをカードに書く。</li> <li>・誰に種をプレゼントするか話し合う。</li> <li>・新1年生にどのようなことを伝えるのか考える。</li> <li>・プレゼントを作る。</li> </ul>	<p>【関】種とりに関心をもち、種のプレゼントをしようとしている。(行動観察)</p> <p>【思】思いや願いを込めて、種とりをし、その種をどうすればよいかを考えている。(行動観察・対話)</p> <p>【思】どのようなことを伝えるのか友達と考えている。(行動観察・対話)</p> <p>【思】どのようなプレゼントを作るか友達と考えている。(行動観察・対話)</p> <p>【気】アサガオは生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p>
17 ・ 18 ・ 19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春から夏に育てた経験をもとに、秋まきの種をまいたり、球根を植えたりして、意欲をもって世話をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋から育てることができる草花や野菜について調べたり、聞いたりする。</li> <li>・自分で育てたい花や野菜を決める。</li> <li>・どんな世話が必要か調べる。</li> <li>・種をまき、苗を植え、毎日世話を続ける。</li> </ul>	<p>【関】秋まきの植物に関心をもち、育てたい植物を選び、世話をしようとしている。(行動観察)</p> <p>【思】調べたり、考えたりしたことをもとにして、自分なりに工夫しながら育てている。(行動観察)</p> <p>【気】秋まきの植物があることに気付き、今までの経験を生かせば育てられることに気付いている。(行動観察・つぶやき)</p>

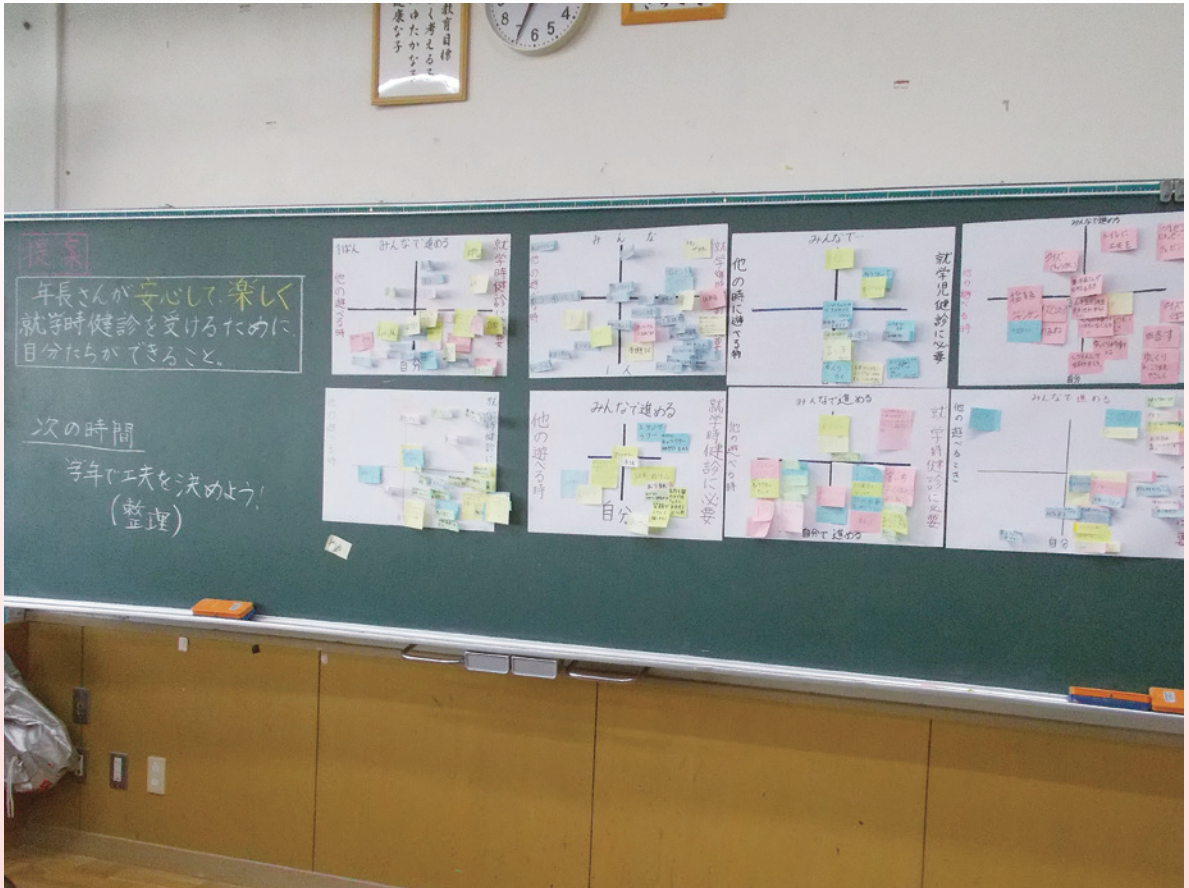
## 8. 本時（全19時間中の第15時）

### （1）本時の目標

これまであさがおを育ててきたことを振り返り、新1年生に伝える、あさがおの秘密を考えることができる。

### （2）本時の展開

時間	○学習活動 ・ 児童の反応	指導上の留意点等（→） 評価規準（☆）
導入 6分	<p>○本時のめあてと見通しをもつ。（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たねをプレゼントするんだ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>つたえよう！あさがおのひみつ！</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい1年生にプレゼントするんだよね。</li> </ul> <p>○本時の学習に際し、今までの学習を振り返る。（4分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種を植えて、しばらくしたら双葉が出たね。</li> <li>・あさがおさん大切に育ててきたからお花も咲いたね。</li> <li>・お花が咲いたからお花で遊ぶこともできたね。</li> <li>・種もできたね。植えた時と同じ大きさの種ができたね。</li> </ul>	<p>→観察カードやあさがお日記から今までの生長を振り返らせる。</p> <p>→児童の意見を聞いて、めあてを決める。</p> <p>→生長の様子を想起させるために、児童が育てたあさがおの写真を見せる。</p>
展開 35分	<p>○個人でどのような秘密を伝えるか考えをカードに書く。（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は種が近づきすぎないように植えたよ。</li> <li>・僕はつるが出てきたら支柱を立てたよ。</li> <li>・私は、紫と赤色の花が咲いたよ。</li> </ul> <p>○ペアで、伝えたい秘密を話す。（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしのあさちゃんについて紹介します。</li> <li>・わたしは、つるが伸びすぎたら切ることを伝えたいです。あと、お花で色水が作れることも伝えたいです。</li> <li>・あなたの書いたことと僕の書いたこと一緒だから青シールを貼るよ。</li> <li>・お花で色水が作れることは書いてないな。赤シールを貼るね。</li> </ul> <p>○伝えたいことを発表する。（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、本葉がたくさん出てきたら間引きすることを伝えたいです。</li> <li>・僕は、色々な色の花が咲くことを伝えたいです。</li> <li>・私は、種がたくさんとれることを伝えたいです。</li> </ul>	<p>→実際にあさがおを観察しながら、伝えたい秘密をカードに書かせる。</p> <p>→カードが書けていない児童には、あさがおカードやあさがお日記を参考にさせて書かせる。</p> <p>→児童の実態に応じたカードを何種類か用意する。</p> <p>→あらかじめ話す順番を決めておく。</p> <p>→話型を提示し、話型に沿って話させる。</p> <p>→自分の考えと友達の考えを比較し、考えを明確にさせるために、自分が書いたことと同じ考えや似ている考えには、青シールを貼らせる。自分の書いたことと違う考えには、赤シールを貼らせる。</p> <p>→発表したことがどこの観点に入るかグルーピングしながらまとめる。</p> <p><b>【思】</b> どのようなことを伝えるのか友達と考えている。（行動観察・対話）</p>
まとめ 4分	<p>○本時の振り返りを共有し、次の授業の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次は新1年生に渡す手紙を作って、手紙に秘密を書きたいな。</li> </ul>	<p>→あさがおの発芽から、種子になるまでの生長の過程に関する動画を見せる。</p>



第4学年 総合的な学習の時間  
対話を深めるツール「考えるための技法」を活用して

# 第三章 資料



第5学年「幼稚園の先生にチャレンジ！」  
幼稚園教員に質問をする5年生

5歳児から第1学年への短期的な接続だけでなく、3歳児から第6学年までの9年間の発達や学びの連続性を見通した長期の接続にとりくむために、幼小合同の研究構想図としました。

### 晴海幼稚園教育目標

○にこにこ明るい子 ○のびのび元気な子 ○優しく元気な子



## 9年間の目指

### 晴海幼稚園・月島

# 対話を通して自ら考え、主体 ～幼児期の終わりまでに育ってほしい

### 幼児の現状

- やり方が決まっていると安心して行こうが、自分で考えて行動することが苦手である。
- 友達や教師に伝えたいことがあっても、言葉で表現できないことがある。



### 教師の願い

- 自分の思いを伝えながら、じっくりと遊ぶ楽しさを味わってほしい。

### 幼児期の終わりにまで

健康な  
心と体

自立心

協同

思考力の  
芽生え


自然との関わり・  
生命尊重

数量・  
文字

各学年の姿を明らかにすることで、協議会の視点が集まると考え、目指す幼児像・児童像を設定しました。

## 研究仮説

## 幼小9年間を通して対話的 自ら考え主体的に学ぶ幼児・

		年少（3歳）	年中（4歳）	年長（5歳）	1年生	
目指す児童像	主体的に学ぶ姿	自分の思いを出しながら十分に遊ぶを楽しむ。 	遊びの目的をもち、自分の力を出しながら、進めていく。	友達とのつながりの中で刺激を受けながら、自分の目的に向けて力を発揮して実現していく。	接続期カリキュラム	学習の見通しをもって、互いの意見を認め合い、自分の考えをもって活動できる。
	対話の姿	自分の思いを安心して表すことができる子	相手の思いに気付きながら、自分の思いを伝えることができる子	自分の考えを相手に分かるように伝えることができる子		自分の考えをもって対話し、自分なりに考えることができる子

環境の工夫

考えるための技法

# 対話を深め



子ども像

第三小学校の研究



月島第三小学校教育目標  
 ○よく考える子 ○心ゆたかな子 ○健康な子

的に学ぶ幼児・児童の育成  
 姿を踏まえた幼小接続の指導の工夫～

幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られる姿です。10項目あります。

育ってほしい姿

性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり

図形 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

児童の現状

- 語彙や表現力が十分でない児童がおり、コミュニケーション能力に差がある。
- 一方的な発表はできるが、そこから考えを深めたり広げたりすることができない。

教師の願い

- 自ら課題を解決する力を付け、他者との対話から自分の考えを深めてほしい。

な学びを重視する教育活動を展開すれば、児童が育つだろう。

2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学習の見通しをもって、互いの意見を尊重し合い、自分の考えをもち活動できる。	課題に対する自分の考えをもち、自分の考えと他者の考えの違いに気付くことができる。	課題に対する自分の考えをもち、自分の考えと他者の考えの違いに気付く、自分の考えに自信をもつことができる。	課題に対する自分の考えをもち、他者の考えとの相違点を受け止め、自分の考えの根拠を明らかにすることができる。	課題を自分で設定することができ、他者の考えとの相違点を受け止め、自分の考えの根拠を明らかにすることができる。
自分の考えをもって対話し、さらに深く考えることができる子	対話から、自分と他の違いに気付き、自分の考えを深めることができる子	対話から、自分と他の違いに気付き、自分の考えを深め、自分に自信をもてる子	対話から、自分の考えを深めたり、広げたりし、自分の考えを再構築できる子	対話から、自分の考えを深めたり、広げたりし、自分の考えを再構築し、協同的に話し合いができる子

るツール

振り返りノート

トーキンググループ

# 対話を深めるツール

子どもたち同士の対話を広げ、深めていくために・・・  
中央区立晴海幼稚園・中央区立月島第三小学校でまとめた教師の支援や工夫を、



『対話を深めるツール』とし、

これらのツールを活用し、各学年が目指す「対話の姿」の実現を目指す!!

## 環境の工夫

### ①思考が広がる保育室・教室環境

個々が考えをもちやすくするために視覚的な環境を意図的に設定しました。



1年 生活科  
「あさがおさんとなかよし」  
既習事項を想起させる。



子どもたちの情報共有の場  
5年 総合的な学習の時間  
「幼稚園の先生にチャレンジ！」  
調べた情報をまとめ、共有させる。



幼稚園 年長  
「誕生人形の乗り物を作ろう」  
自分が作った人形を遊びに使いやすいように置き、乗り物作りへのイメージをふくらませる。

2年 国語科「お手紙」  
関連する本を教室や学年の廊下に掲示し、イメージをふくらませる。

### ②意見が広がる環境

3年 図画工作科  
「いつもの場所で」  
校庭での活動  
(色水で校庭を飾る。)



幼稚園 年中「自然物を使って遊ぼう」  
種類別に分類し、様々などんぐりの違いや遊び方に気付かせる。

集めた情報を共有し、そこから対話が生まれるような環境設定を工夫しました。

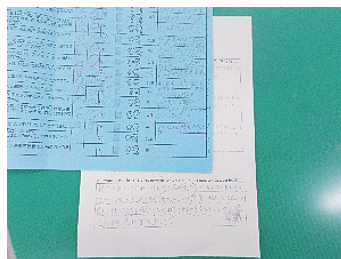
## 振り返りノート

振り返りの時間で、対話から深まった自分の考えを再整理する。

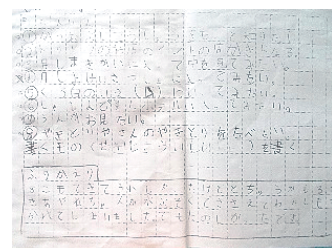


- ①次時の学習活動へつなげていく。
- ②自分の考えの変化を知る。

- ・幼稚園 遊びを振り返る教師の言葉掛け
- ・1年 生活科 「あさがお日記、あさがおカード」
- ・2年 生活科ノート
- ・3年 理科ノート
- ・4年 総合ノート
- ・5年 総合ノート
- ・6年 体育ノート
- ・家庭科 振り返りノート



1年 あさがお日記

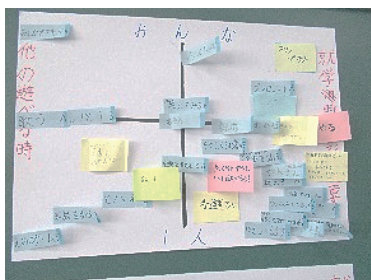


2年 生活科ノート

友達との対話から増えた知識や変化した自分の考えを整理し、再構築していくために活用しました。

## 考えるための技法

個々の考えを可視化することで達同士の話し合いが進められるようになりました。考えを選ぶ、組み合わせる、抽象化するなど、状況に応じて「思考ツール」活用し、一人一人の考えを広げ深めていきました。



### ○座標軸

児童のアイデアを2軸4象限からなる「座標軸」を活用した思考場面。2つの価値で分類する思考へと向かわせることができた。

5年 総合的な学習の時間  
「幼稚園の先生にチャレンジ」  
(4象限を用いた話し合い)

2年 生活科  
「わたしの町はっけん」  
(マップ化して共有)



考える技法（思考ツール）を使った伝え合いの時間→〈思考深化〉

- ・話し合いの課題に応じて4象限や2象限、KJ法などのツールを使い、子どもたちの意見を可視化して話し合う場面を設けた。グループ活動においては、自分たちでツールを選んで、操作しながら話し合うようにする。

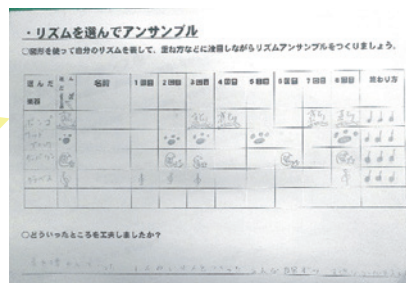


6年 体育科「マット運動」  
(ICT機器を活用し、友達と  
学び合う)

### ○マトリックス

複数の候補を複数の視点で評価し、比較するような話し合いでは、分析結果の違いが視覚的に捉えやすい「マトリックス」を活用した。

5・6年 音楽科  
「いろいろな音の響きを味わおう」  
(マトリックスで話し合い)



## トーキンググループ

ペア、グループ、全体での対話、さらにそのグループの構成を意図的なものにする、など、状況に応じて設定していきました。

### ①学級全体の話し合い



5年 総合的な学習の時間  
「幼稚園の先生にチャレンジ」

### ②グループトーク



わたしのグループからは、  
こういう意見が出たよ。

4年 総合的な学習の時間  
「二分の一成入式をしよう」  
(ワールドカフェ方式による  
話し合い)

### ③ペアトーク 幼稚園 年長 「誕生人形の乗り物を作ろう」



それ、  
いいね！

このリズム  
組み合わせも  
いいね！

気球のようは  
どうする？

### ④リズムアンサンブル（音楽科）



- ①リズムを決める  
〈個人〉
- ②楽器を決める  
〈グループセッション〉
- ③合奏  
〈グループで話し合った結果を、演奏にして発表する。〉



第5学年と5歳児「アマビエ作り」  
できた作品を一緒に見る

# 第四章 資料

「幼稚園の先生にチャレンジ」の単元計画です。33時間にも及ぶ計画の中では、幼児との交流にとどまらず、6年生への進級への期待と自信につながるように計画しています。

## 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導計画案

令和元年10月23日（水）第5校時

中央区立月島第三小学校 第5学年2組 33名


授業者 ○○ ○○

「対話を深めるためのツール」(P 24, 25)を効果的に活用し、個々の思考を深められるように工夫します。

### 1 単元名 (仮)「幼稚園の先生にチャレンジ」

○指導計画・評価計画（総合的な学習の時間25時間）（国語科6時間）（行事 就学時検診2時間）

次	時	主な学習活動	◎教師の手だて ★評価規準
① 幼稚園児を知る！	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学時健診に向け、児童が幼稚園児と関わる事を知り、幼稚園児の実態を考える。</li> </ul> <p>児童が必要感をもって取り組むことのできるような課題設定を工夫しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎イメージマップ（考えるための技法）を使い、学級全体で話し合う。実態を詳しく知る為に、インタビューをし、情報収集が必要だと気付かせる。</li> <li>★自分の意見を持ち、話し合いから自分の意見をさらに広げる事ができたか。（総合ノート）</li> </ul>
	② ③ ④ 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児について、詳しく知る為に、どうしたらいいか考える。</li> <li>晴海幼稚園園長や幼稚園教員にインタビュー、園児を見学する為に、どのような準備をしたらいいか考える。</li> </ul> <p>〈国語科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューや幼稚園見学し、情報収集する。（2時間）</li> </ul> <p>他教科で学んだことを実践する機会を設け、教科での学習を生かして活動が展開されるように工夫しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎環境の工夫（関連する本を意図的に設置）から、児童からアイデアを出しやすくする。</li> <li>◎園長や教員と入念に打ち合わせ、児童に話してほしいポイントをおさえておく。</li> <li>・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について（遊びのめあてについて）</li> <li>・環境の工夫</li> <li>・小学生との違い</li> <li>・小学校入学に向け取り組んでいる事</li> <li>・幼児と関わる時、気を付けていること</li> <li>★積極的にインタビューできているか。</li> <li>★相手を意識した話し方でインタビューする事ができているか。</li> <li>★見学して気付いた事を総合ノートにまとめることができているか。</li> </ul> <p>学習のねらいを幼稚園教諭とも共有し、確実に達成できるようにします。</p>
	⑤ 整理分析 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を全体で共有し整理分析する。（インタビュー）</li> </ul> <p>○先生方の思い</p> <p>○小学校との違い（園児の見学）</p> <p>○行動</p> <p>○言動</p> <p>○好きなもの</p> <p>○好きな遊び</p> <p>○先生の接し方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎それぞれの情報を共有する為に、調査結果をまとめる。</li> <li>★グループで協同して、まとめることができているか。</li> <li>・幼稚園の先生に意欲的に質問している。</li> <li>★園児の様子を観察したり、幼稚園の先生に相談したりすることで、解決の方法や手段を考え、見通しをもって計画を立てることができる。</li> </ul>

次	時	主な学習活動	◎教師の手だて ★評価規準
② 幼稚園園児との出会い	⑥ 課題設定 (本時)	・園児を迎える為に、自分たちが準備する事を考えよう。 提案 「新1年生が安心して就学時健診を受けるために、自分たちができること。」	◎四象限で話し合い分析する ・園児に適した対応か ・実現可能か ◎意見には必ず理由を付けることにする。 ◎話し合いで意見の移動を考え、短冊に記入し操作しやすいようにする。 ★自分の意見をもつ事ができ、話し合いによって自分の意見が広がったり、深まったりしたか。
	⑦ 整理分析	・クラスで話し合ったことを、さらに学年で話し合い厳選する。	◎就学時健診で園児と自分たちの行動を再確認し、状況や必要性を考えて進める。 ★自分の意見をもつ事ができ、話し合いによって自分の意見が広がったり、深まったりしたか。
	⑧ 準備	・就学時健診の準備をする。	◎児童の考えや工夫を実現させる支援をするとともに、場や相手にふさわしいかどうかを考えさせながらすすめていく。 ★友達と協力して、取り組んでいるか。
	⑨⑩ 就学時健診 (行事)	・自分たちのできることを実践しながら、就学時健診をすすめる。	★相手への態度は適切であるか。 ◎園長に子供たちの様子を見てもらう。 (次時でアドバイスをもらうため。)
	⑪ まとめ	・振り返る	◎就学時健診を振り返り、達成感を持ち、さらに園児に関わりたい、遊んであげたいという気持ちをもたせる。 ◎園長に「幼稚園の先生やってみる？」と提案をもらう。 ★振り返りから、次の課題をもつことができたか。
③ 幼稚園の先生にチャレンジ	⑫ 課題設定	・「幼稚園の先生にチャレンジ」するために必要な事を考えよう ○幼稚園園児を調査 ○幼稚園の先生にインタビュー ○園長先生にインタビュー ○本で調べる ○インターネットで調べる (国語科)	◎何を調べたら幼稚園の先生の情報を調べられるかを考えさせ、それぞれ調査方法や手段を話し合いから決定させる。 ◎調べるときの礼儀や話し方、インターネットで調べるときの注意点をおさえる。
	⑬⑭⑮ 情報収集	・それぞれ必要な情報を収集する手段で調査をしていく。 	◎児童が主体的に進めているつもりにさせるが、教師がインタビューする相手にコンタクトを取り、話してほしい内容や趣旨などを予め伝えておく。 ◎幼稚園の先生の実態と、園児の実態を調べることで、先生が何を大切に保育し、遊びをつくらせているかに気付かせる。 ◎図書室や学年で共通する本棚に関連する本や資料を集め、児童が調べやすいように環境を整える。 ◎インタビューの仕方は、国語科の中で、全体で指導しておく。 ★相手への態度は適切であるか。 ★調べたい事を適切な手段で明確に調べる事ができているか。

調べたことや考えたことを「企画書」というかたちで表現できるようにしました。幼稚園教諭にも「企画書」を添削してもらうことで、幼児の理解につながるだけでなく、自分たちが「幼稚園の先生」として考えている意識を強くもつことにつなげました。

次	時	主な学習活動	◎教師の手だて ★評価規準
③ 幼稚園の先生にチャレンジ	⑬ ⑭ ⑮ 整理分析	・自分たちが担当する園児に合わせ、適切な遊びを考えていく。 ○1組・3組一年長 ○2組一年中	◎考えるための技法を活用して、自分たちの関わる園児の年齢に応じた遊びを考える。 ◎クラスの先生の対応から大切にしなければならないことを確認しながら進める。 ★話し合いに意欲的に参加し、他者の意見を認めながら進められたか。
	⑯ ⑰ ⑱ まとめ表現	・遊びを厳選し、グループに分かれて準備を進めていく。	◎グループは、自分でやりたいものを選ぶ。 ◎グループごとにチャレンジの計画案を作ることで、対話を通して主体的に遊びの内容を考えるようにさせる。 ★園児の実情に合わせ、進んで考えを述べたり、聞いたりしている。 ★異なる意見や他者の考えを受け入れ、協同して解決することの良さに気付くことができる。
	⑳ (振り返り) 課題設定	・中間報告会 ○計画を報告し合い、良さや改善点について話し合う。	◎準備をすすめている途中で、全体で共通理解することで、良さを取り入れたり、グループ以外からの意見を聞いたりすることができる。 ★相手の良さを認めたり、他者と意見を交流したりしながら、より良い方法を考えることができている。
	㉑ ㉒ 情報収集	・前時の振り返りから遊びを改善し、質を高める。 ○さらにインタビュー ○さらに調査	◎改善点をはっきりさせ、必要な情報をさらに収集する。 ★チャレンジを実行するうえでの課題を明確にすることで、準備を具体的に考えることができている。
	㉓ 整理分析	・計画案を修正し、改めてチャレンジへの見通しをもつ。	◎遊びとともに説明することやかけてあげる言葉なども一緒に考えさせる。 ★園児の様子を想像しながら、遊びの内容について相談している。 ★他者と意見を交流しながら、より良い方法を考えることができている。
	㉔ ㉕ まとめ表現	・準備をすすめる。	◎単に遊び相手になるのではなく、遊びを通して先生として何を教えたいかを明確にしてチャレンジに取り組ませる。 ・園児の実態に合わせ、臨機応変に行動している。 ★課題達成のために対話を通して、他者と協力的に取り組むことができている。
	㉖ チャレンジ直前	・最終確認（最終調整）と幼児に接する態度や言葉の選び方を話し合う。 ・何を大切に、遊びを作ったか、互いに共有し合う。 発表当日 5年3組	◎グループごとに、遊びへのねらいは何かを製作時に意識させ続ける。（教師側は幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を目指した遊びになるよう支援する。） ★他者と意見を交流しながら、チャレンジで大切にすることを再確認し、園児への接し方について、自分の目的をもつことができたか。

児童が友達と考えをすりあわせたりまとめたりすることができるよう、視点を明確に提示しました。



次	時	主な学習活動	◎教師の手だて ★評価規準
③ 幼稚園の先生にチャレンジ	②⑧ チャレンジ	・「年中組の先生にチャレンジ」 発表当日 5年2組	◎単に遊び相手になるのではなく、遊びを通して先生として何を教えたいかのめあてを明確にしてチャレンジに取り組ませる。 ・園児の実態に合わせ、臨機応変に行動している。 ★課題達成のために対話を通して、他者と協力的に取り組むことができている。
	②⑨ (振り返り) 課題設定	・チャレンジを振り返る。 ○園児の笑顔が嬉しかった。 ○楽しんでくれて良かった。 ○また、遊んであげたい。 発表当日 5年1組	◎視点を明らかにしてチャレンジでできたこととできなかったことを挙げ、次のチャレンジへの課題を明らかにする。 ・事実をもとに意見を言ったり、他者の意見を聞いたりしている。 ★グループでの話し合いでは、根拠をもって質問をしたり、理由を挙げながら考えを述べたりしている。
④ 1年生の入学までに自分達ができること	③⑩ 課題設定	・これから自分たちにできることは何か話し合う。 ○年長さんが1年生になるときに安心して小学校に来られるように何かしたい！	◎教師がふり返しカードの中で、チャレンジを経て出てきた思いや課題を認め、次を考えられるように支援を行う。 ★他者と意見を交流しながら、より良い方法を考えることができている。
	③⑪ 情報収集・整理分析	・入学までに自分たちができることを精選し、準備をすすめる。 ○1年生の先生にインタビュー ○1年生の保護者にアンケート ○年長組にアンケート ○近隣の保育園、幼稚園にアンケート	◎四象限など考える技法で話し合い分析する ・1年生に適した対応か ・実現可能か ◎意見には必ず理由を付けることにする。 ◎話し合いで意見の移動を考え、短冊に記入し操作しやすいようにする。 ★自分の意見をもつ事ができたか。
	③⑫ ③⑬ まとめ・表現	・入学式から安心できる小学校生活ができるように、準備をすすめる。 ○手作りぬりえ ○絵本コーナー（手作り絵本） ○入学式の黒板デザイン ○壁アート ○遊びコーナー	◎教師は、スターとカリキュラムと一体化させながら子供たちの支援を行う。 ◎入学式当日から、入学後1週間を想定して、準備をすすめる。 ◎1年生の保護者にも分かるように、アピールできる場（ポスター・手紙など）を設ける。 ★課題達成のために対話を通して、他者と協力的に取り組むことができている。

活動の達成感から次の意欲をもてるようにつながりのある課題設定を工夫しました。

幼稚園教諭、小学校教諭が互いのねらい、援助の観点を明らかにすることで、子どもたちに適切な言葉掛けや支援をすることができると考え、「年中組・第5学年の合同指導案」を作成しました。

## 4歳児・第5学年 合同指導計画案

年中組活動名

### 「5年生と遊ぼう！」

いるか組 29名 保育者 ○○ ○○

あしか組 29名 保育者 ○○ ○○

【ねらい】

5年生との交流を通して、自分から進んで人や遊びに関わる楽しさを感じる。

5年生活動名

### 「幼稚園の先生にチャレンジ！」

5年2組 33名

指導者 ○○ ○○

【目標】

幼稚園児との交流活動を体験することによって、人との関わりを深めるとともに、他者と協同して課題を解決する。

1. 日時 令和2年1月24日（金） 13：00～14：10
2. 場所 晴海幼稚園年中組保育室
3. 展開

	年中組		5年生
時間	○幼児の動き ☆援助・環境	主な活動	●5年生の動き ★手だて
13：00	○各遊びの紹介を聞く。 ☆5年生の話を、興味をもって聞けるように、期待する気持ちに共感したり、遊びの楽しさを伝えたりする。	①5年生による各遊びのCMタイム！	★年中組の先生として、遊びの中で意識することを再確認してから、保育室へ行く。 ●CM担当は、年中児の前へ出て説明する。 ●準備担当は、自分の担当グループでセッティングをする。
13：10	○ブースを回って遊ぶ。 ☆困ったことや聞きたいことがあるときには、案内役の5年生に聞くことができるように声を掛ける。 ☆スタンプを集められているか様子を見守ったり、回れていない幼児には声を掛けたりする。 ☆やりたいことが見付からない幼児、緊張している幼児には、教師と一緒に回ったり、5年生に関わって教えてもらえるようにしたりする。	②交流活動 (①遊び15分—移動トイ5分—②遊び) ・絵本 ・工作 ・的当て ・ボーリング ・パズルなど (15分交代)  ※年中児がすべての遊びができるよう、スタンプラリー形式とする。	13：10～13：45 ●(A) 1回目→案内係 2回目→ブース (B) 1回目→ブース 2回目→案内係  ★計画通りに進められているか、ブースごとに確認する。 ★幼児の状況に適した態度で接することができるか確認する。 ★交代の合図、終了の合図は、雰囲気を壊さないように音楽を流す。 (役割分担の一つとして5年生が対応する。)
13：45	○5年生に楽しかったことを伝える。 ☆自分から話し出せない幼児には、教師が問いかけたり、代弁したりする。 《評価》 ・自分からいろいろなブースに関わって遊びに繰り返し取り組んでいるか。 ・自分から5年生に関わって動いているか。	③インタビュータイム！ (5年生→年中児) (年中児→5年生) 司会：5年生	★一緒に遊んで楽しかったこと、嬉しかったことなど、感想を伝え合わせる。 ★司会者を決め、インタビューの雰囲気をつくる。 《評価》 ・課題達成のために対話を通して、他者と協力的に取り組むことができている。
13：50 14：10	○降園準備をする。 ☆5年生の話を聞いて、動けるように声を掛ける。 ☆自ら動いたり、5年生にやり方を知らせたりする姿を見守る。 ○降園する。	④帰りの身支度 帰りの挨拶 見送り (降園まで5年生が先生役として対応する。)	●13：50～14：10 年中児の帰りの会、見送りを行う。 ★玄関へ年中組の園児を保護者に引き渡すまで先生役として5年生に責任を担わせる。 ●14：10～14：25 片付け 今日の振り返り 次時への話し合い

# 第五章 資料

## 接続カリキュラムの見方

本研究では、幼児期の終わりから小学校第1学年の指導をつなぐために「接続カリキュラム」を作成しました。

本園では、3年間の幼児の発達を1期～14期に分け、指導計画を作成しています。「接続カリキュラム」は、その発達の「続き」を見通し、第1学年4月～5月上旬を「15期」、5月中旬～9月上旬を「16期」として発達する姿をつなげました。

つなげる軸として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用しました。表の(1)～(10)は、幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目の冒頭の番号に相当しています。

子どもの生活の全ての姿をこの10項目に分けると、多くの姿が出されてくるはずですが、ここでは、本研究の主題にせまる姿を中心に挙げました。

時期	5歳児後半	
・ 学びのスタイルと指導 ・ 教育要領のつながり	環境を通して行う教育（遊びを通しての総合的な学び） 幼稚園教育要領 5領域 健康 人間関係 環境 言葉 表現	
	期	←13期(10月中旬～12月中旬).....14期
学びの姿のつながり (幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)を軸として	(1) 健康な心と体	・ 日や週の生活に見通しをもち、自分たちで進めようとする。 ・ 安全な登降園の仕方や交通ルールを知り、保護者と手をつないで
	(2) 自立心	・ 遊びに自分なりの課題をもって繰り返し取り組み、やり遂げた喜びを味わう。 ・ 課題への取り組みの中で、さらなる課題を見出し、取り組もうとする。
	(3) 協同性	・ 学級・学年の課題を受け止め、自分の力を発揮したりグループで協力したりして取り組もうとする。 ・ 学級のみならず活動に取り組む中で、互いに励ましたり、よさを認めたりする。
	(4) 道徳性・規範意識の芽生え	・ ルールの意味や大切さが分かり、ルールを守りながら友達と繰り返し遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 友達と遊びを進めていく中で、自分と友達との考えに折り合いを付けよりよい方法を考え出そうとする。
	(5) 社会生活との関わり	・ 3、4歳児や小学生との関わりの中で、相手の立場を踏まえて行動し、小学校との交流を通して、小学校の生活を体験しようとする。
	(6) 思考力の芽生え	・ 自分なりの遊びの目的に向かって、必要な物を選んだり、繰り返し楽しむ。
	(7) 自然との関わり・生命尊重	・ 栽培物の世話を通して生長に関心をもち、友達に伝えたり共に楽しむ。 ・ 身近な自然現象や自然の変化に気付いたり、遊びに取り入れたりする。
	(8) 数量や図形、標識や文字への関心・感覚	・ 遊びや生活の中で、必要なことを伝えるために文字や数字を使ってみようとする。
	(9) 言葉による伝え合い	・ 友達と考えを出し合ったり、受け入れ合ったりしながら言葉で伝え合う楽しさを味わう。 ・ 友達と話し合う中で、自分の思いを伝えるために言葉を選んで相手に分かるように伝えようとする。
	(10) 豊かな感性と表現	・ 身近にある様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを必要な物を選んで自分で表現しようとする。 ・ 劇遊び、歌や合奏で、ストーリーや歌詞、曲想に合わせて表現の
ねらい	○友達との遊びの中で共通の目的に向かって友達と考えを出し合ったり力を合わせたりして、協力していく楽しさややり遂げていく満足感を味わう。 ○その子らしさを受け止めて力を合わせたりつながりを深めたりしながら園や学級の課題をやり遂げるようになる。 ○生活の流れに見通しをもちその場にふさわしい行動を考えていくようになる。	○その子らしさが分かしながら共通の目的 ○学級全体の活動の中心 ながら協力して進め ○生活に見通しをもち わう。

**(期)**  
3年間の幼児の発達をとらえた「期」の考え方を小学校入門期にも当てはめて考えました。「15期」は、「入学直後で小学校生活に少しずつ慣れていこうとする時期」、「16期」は「小学校での生活の仕方が分かり、自分の思いを出していこうとする時期」と考えました。

**(学びの姿のつながり)**  
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸とし、各項目について、幼児や児童の姿のつながりを考えました。ここに挙げた姿は、幼児や児童の生活の一部ですが、特にその時期に大切にしたいことを5歳児指導計画と1年生の指導の計画から抜き出し、5歳児と1年生の担任が精査しました。

**(ねらい)**  
上記の幼児・児童の学びの姿から、その期のねらいを出しました。幼児期は5歳児指導計画の各期のねらいと同様です。小学校については、児童の生活全般をとらえた「期」のねらいという考え方はあまりなかったのですが、「9年間の目指す幼児・児童像(P22, 23)」を達成していくために、教科の枠を超えた包括的な「ねらい」を考えました。

幼児教育と小学校教育のつながりをイメージしやすくするために、5歳児終わりから、小学校入学当初の時期を、発達や学びの連続性の観点から一体的に捉えたものを「接続カリキュラム」として作成した。その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点で学びの連続性を示しました。

# 中央区立晴海幼稚園・中央区立月

時期	5歳児後半		
・ 学びのスタイルと指導 ・ 教育要領のつながり	<b>環境を通して行う教育（遊びを通しての総合的な学び）</b> <b>幼稚園教育要領</b> 5領域 健康 人間関係 環境 言葉 表現		
	期	13期（10月中旬～12月中旬）	14期（1月上旬～3月中旬）
学びの姿のつながり（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸として）	(1) 健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日や週の生活に見通しをもち、自分たちで進めようとする。</li> <li>・ 安全な登降園の仕方や交通ルールを知り、保護者と手をつないで歩く。</li> </ul>	
	(2) 自立心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びに自分なりの課題をもって繰り返し取り組み、やり遂げた喜びを味わう。</li> <li>・ 課題への取り組みの中で、さらなる課題を見出し、取り組もうとする。</li> </ul>	
	(3) 協同性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級・学年の課題を受け止め、自分の力を発揮したりグループで協力したりして取り組もうとする。</li> <li>・ 学級のみみんなで活動に取り組む中で、互いに励ましたり、よさを認めたりする。</li> </ul>	
	(4) 道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールの意味や大切さが分かり、ルールを守りながら友達と繰り返し遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・ 友達と遊びを進めていく中で、自分と友達との考えに折り合いを付けよりよい方法を考え出そうとする。</li> </ul>	
	(5) 社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3、4歳児や小学生との関わりの中で、相手の立場を踏まえて行動しようとする。</li> <li>・ 小学校との交流を通して、小学校の生活について知り、就学に期待をもつ。</li> </ul>	
	(6) 思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの遊びの目的に向かって、必要な物を選んだり、繰り返し試したり工夫したりすることを楽しむ。</li> </ul>	
	(7) 自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培物の世話を通して生長に関心をもち、友達に伝えたり共に喜んだりする。</li> <li>・ 身近な自然現象や自然の変化に気付いたり、遊びに取り入れたりする。</li> </ul>	
	(8) 数量や図形、標識や文字への関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びや生活の中で、必要なことを伝えるために文字や数字を使ってみようとする。</li> </ul>	
	(9) 言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と考えを出し合ったり、受け入れ合ったりしながら言葉で伝え合う楽しさを味わう。</li> <li>・ 友達と話し合う中で、自分の思いを伝えるために言葉を選んで相手に分かるように伝えようとする。</li> </ul>	
	(10) 豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近にある様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを必要な物を選んで自分で表現しようとする。</li> <li>・ 劇遊び、歌や合奏で、ストーリーや歌詞、曲想に合わせて表現の方法を自分なりに工夫しようとする。</li> </ul>	
ねらい	○友達との遊びの中で共通の目的に向かって友達と考えを出し合ったり力を合わせたりして、協力していく楽しさややり遂げていく満足感を味わう。	○その子らしさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりしながら共通の目的をもって遊びを進める。	
	○その子らしさを受け止めて力を合わせたりつながりを深めたりしながら園や学級の課題をやり遂げるようになる。	○学級全体の活動の中で、互いの持ち味を發揮し認め合いながら協力して進めていく満足感を味わう。	
	○生活の流れに見通しをもちその場にふさわしい行動を考えていくようになる。	○生活に見通しをもち楽しみながら進めていき充実感を味わう。	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

(1) 健康な体と心 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重 (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現

# 島第三小学校 接続カリキュラム

小学校入学当初	
教科教育（自覚的な学び）	
<p>→ <b>小学校学習指導要領</b></p> <p>国語科 道徳科 算数科 体育科 生活科 外国語活動、外国語科 音楽科 特別活動 図画工作科</p>	
15期（4月上旬～5月上旬）	16期（5月上旬～9月上旬）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れが分かり、朝の支度を自分で進めようとする。</li> <li>・通学路や交通ルールが分かり、安全な登下校ができる。</li> <li>・自分なりに課題をもって学習に取り組むようにする。</li> <li>・学習の中で友達と関わり、考えを認め合うことができる。</li> <li>・学校での約束が分かり、それらを守ろうとする。</li> <li>・上学年や先生と関わり、学校では色々な人がいることが分かる。 ・学校、家庭、地域での人との関わりの中で、人やものを大切にしようとする。</li> <li>・思いや願いを実現するために自分自身について考えたり表現したりする。 ・思いや願いを実現するために自分自身や自分の生活について考えたり表現したりする。</li> <li>・生き物に心を寄せ、愛着をもって接しようとする。（生活科、特別活動） ・生き物が変化し成長していることに気付き、より大切にしようとする。</li> <li>・具体物や図などを用いて数の数え方を考える。（算数科） ・具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える。</li> <li>・身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使う。（国語科） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使う。</li> <li>・音楽科や図画工作科などを通してつくり出す喜びや楽しさを味わおうとする。（音楽科、図画工作科） ・音楽科や図画工作科などを通して様々な表現方法を知り、進んで表現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や状況を見ながら、支度を終わらせようとする。</li> <li>・より難しい学習課題に向かって取り組もうとする。</li> <li>・学級全体で学習を進めていこうとする。</li> <li>・友達に自分の思いを言葉で伝えようとする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい集団での生活に慣れ、自分の思いや考えを表す。</li> <li>○新しい友達と触れ合ったり話をしたりして親しみをもつ。</li> <li>○小学校のきまりや生活の仕方を、掲示や教師の話から知り、守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や学習の中で、自分の思いや考えを、話し言葉や文字等で表す。</li> <li>○生活や学習の中で、友達の考えを聞いたり自分の考えを出したりして、友達と仲良く過ごす。</li> <li>○生活や学習の中で、分からないことや困ったことを教師や友達に伝えて解決しようとする。</li> <li>○学校や学習のルールを理解し、掲示や教師の話から自分なりに見通しをもって行動しようとする。</li> </ul>

\* 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。（小学校学習指導要領 第1章 総則 学校段階間の接続 平成29年告示）

# 中央区立月島第三小学校 入学当初のカリキュラム

## ①本校の入学当初カリキュラムについて

本校は、今年度「スタートカリキュラム」から「接続カリキュラム」に変え、幼児期から小学校教育を見通し、9年間の中で子どもたちを育てることに主眼を置いたカリキュラムの編成を目指しました。

## ②今年度本校で実施した区切り

にこにこタイム	登校後、自分で好きな遊びを選択して取り組む活動。幼稚園の朝の自由遊び（自発的な活動としての遊び）に似せた。今年度用意した遊びは、晴海幼稚園でやっていた遊びを取り入れ、「折り紙」「お絵かき」「ぬりえ」「けんだま」「かるた」「絵本読み」にした。また、選択した遊びを教室内の自由な場所で取り組むことで、「何人と」「どこで」「どうやって」遊ぶのかを考えることにもつながった。
なかよしタイム	ダンスや歌などで体と心をほぐし、全員で取り組み、学校生活に慣れるための活動。
わくわくタイム	生活科を中心に、他教科と関連付けて合科的に行う活動。
しんけんタイム	教科に関係する学習や集団で集中させたい活動。

## ③入学時の教育環境について

### 幼児期と同じ机の配置

登校時は、机をグループ型にした。幼児期は、互いの顔を見合わせるグループ型で生活することが多く、それらと同じ型で朝生活することにより、安心して活動したり、仲間作りをしたりできると考えた。また、一日通してこのグループ型にするのではなく、今後の学校生活につながるために「しんけんタイム」では、机の配置を前向きにした。活動によって机の配置を変えることで、よりスムーズな接続ができました。

### 遊びの広がり

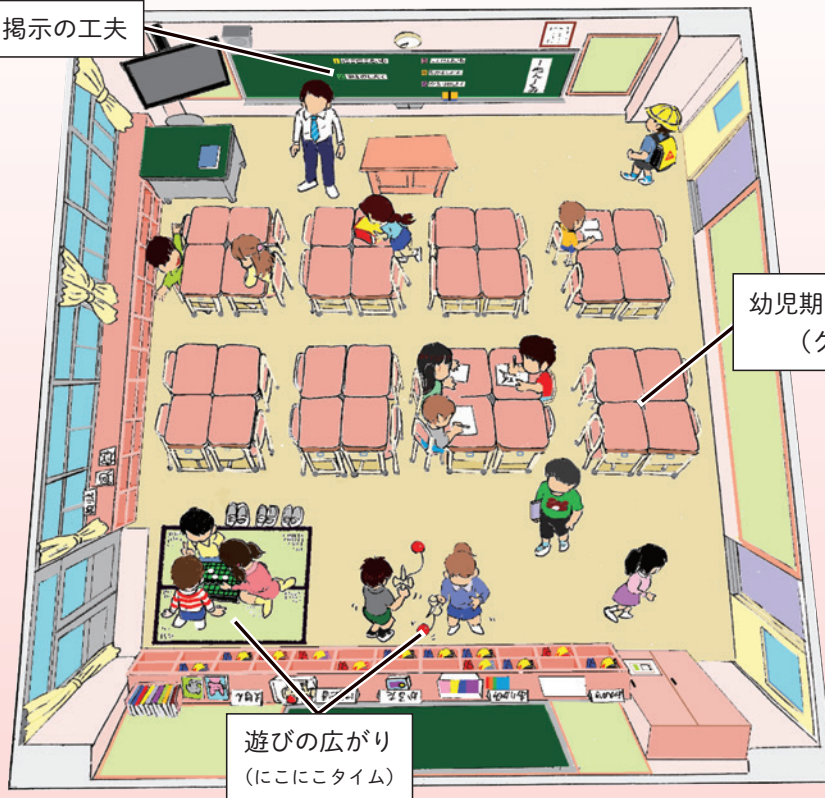
教室に折りたたみ式の畳を設置することで、オセロやカルタなどこれまで教室ではやりにくかった遊びができるようになりました。遊びの選択が広がったことで、友達との距離が縮まりました。

### 視覚的に分かる掲示の工夫

「朝、学校に着いたらまず何をするのか。」「今日は何をするのか。」など登校してきて児童がまず感じる不安を解消するために黒板に手順や流れを掲示しました。

## ④入学時の教育環境

視覚的に分かる掲示の工夫



幼児期と同じ机の配置  
(グループ型)

遊びの広がり  
(にこにこタイム)

⑤入学から3週間の学校生活

第1週 平成31年4月8日(月)～12日(金)

今週のねらい 学校での学習やみんなで過ごすことに興味をもち、学校探検などのいろいろな活動に取り組む。

	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
朝		あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム
1	入学式	なかよしタイム 〔生活〕「がっこうだいすき」 ・読み聞かせ 絵本(例)「ト イレにいけるかな」 ・トイレの使い方 ・手紙の折り方・連絡袋 ・歌って踊ろう(迎える会 候補3曲)	なかよしタイム 〔生活〕なかよくなるろう ・道具箱のしまい方 ・呼名練習 ・手遊び ・歌って踊ろう ・ゲーム(じゃんけん列車)	なかよしタイム 〔生活〕なかよくなるろう ・手遊び(命令ゲーム) ・歌って踊ろう 〔学活〕 ・クラス写真撮影 ・呼名練習	なかよしタイム 〔生活〕なかよくなるろう ・手遊び ・ゲーム
2					わくわくタイム 〔生活〕がっこうたんけん ・他学年(3・4階)の教室 ・5階特別教室
3	呼名 保護者の方へ 写真撮影	10:10 かえりのしたく 絵本の読み聞かせ	わくわくタイム 〔生活〕がっこうたんけん 2階(1年・3年)の教室、 校長室・職員室・保健室、 玄関(主事室)	わくわくタイム 〔生活〕がっこうたんけん ・校庭・体育館・プール・ 給食室・ランチルーム	〔生活〕なかよくなるろう 1年生を迎える会の練習 (体育館・学年合同) 呼名→歌
4			11:05 帰りのしたく 絵本の読み聞かせ	11:10 帰りのしたく 絵本の読み聞かせ	11:10 帰りのしたく 絵本の読み聞かせ
下校	保護者と下校	10:40	11:40	11:40	11:40

〔留意事項〕

☆にこにこタイムでやる遊びは幼稚園教諭と相談して決める。(折り紙・オセロ・けん玉・お絵かき・塗り絵)

☆教室後方にござを敷き、集まって遊べるスペースを作る。

机の並べ方……にこにこタイム・なかよしタイムの時はグループ、しんけんタイムの時は、前向きにする。

☆一週間を通して、「クラスの友達」を意識できるような声かけをしていく。

☆毎日の読み聞かせは、シリーズものをできるだけ読むことにして、明日も学校に行きたいという気持ちにつなげる。

☆学校探検で見えたことを描いた絵をみんなが見られるように教室に掲示する。

名前を呼ばれたら返事ができる。  
あいさつができる。  
トイレを使うことができる。  
仲良くあそぶことができる。

国語	算数	生活	音楽	体育
1	0	9	0	0
図工	道徳	英語	学活	行事
0	0	0	1	2

第2週 平成31年4月15日(月)～19日(金)

今週のねらい 学校での生活に慣れ、いろいろな学習を楽しみにして取り組む。給食のやり方を覚える。

	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)
朝	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム
1	心臓検診	なかよしタイム 〔生活〕 ・2年生となかよし ・3年生となかよし ・1年生を迎える会	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな
2	〔国語〕 えんぴつの持ち方		しんけんタイム 〔算数〕 なかまづくりとかず	〔国語〕 図書室の使い方	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず
3	〔生活〕 なかよくなるろう わくわくタイム 〔生活・学活〕	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな 〔算数〕なかまづく りとかず	なかよしタイム 〔音楽〕 歌 手と手であいさつ 校歌	〔体育〕ならびっこ (学年合同)	・避難訓練 〔体育〕 ならびっこ おにあそび	〔体育〕 ならびっこ かけっこ
4	給食の準備をしよう 給食当番をおぼえよ う	〔音楽〕校歌 〔生活〕給食の準備 をしよう	〔道徳〕セーフティ 教室 わくわくタイム 〔生活〕給食の準備 をしよう	なかよしタイム 〔音楽〕手と手であ いさつ さんぽ 〔生活〕給食の準備 をしよう	なかよしタイム 〔音楽〕手と手であ いさつ さんぽ 〔生活〕給食の準備 をしよう	〔ずこう〕 ねんどあそび おだんごづくり
	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ
下校	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	12:30

〔留意事項〕

☆学校生活に慣れてくる頃なので、安全生活に配慮し、落ち着いて生活できるようにする。

☆子どもたちがしたこと(よい行動)、できたことを一つ一つ丁寧に評価する。

☆給食は、時間内で食べ終わらない場合は残すように声かけをする。次第に自分が食べられる量が分かるようにしていく。

☆1年生を迎える会では、月島第三小学校に仲間入りしたことを互いに確かめ、喜び合う。

☆図書室の使用についての指導をする。

☆はじめての土曜授業なので、児童の健康に配慮して授業を行う。

先生の話を聞くことができる。  
学習の準備をすることができる。

国語	算数	生活	音楽	体育
7	4	3.5	2	2.6
図工	道徳	英語	学活	行事
1	1	1.5	1.4	2

第3週 平成31年4月22日（月）～26日（金）

今週のねらい これまでの学校生活を振り返り、1ヶ月の成長を確かめる。

	22日（月）	23日（火）	24日（水）	25日（木）	26日（金）
朝	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム	あさのしたく にこにこタイム
1	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな じこしょうかいしあう	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな こえのおおきさどうする の	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな うたにあわせてあいうえ お	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな うたにあわせてあいうえ お	しんけんタイム 〔国語〕ひらがな ことばをつくらう
2	交通安全教室	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず	しんけんタイム 〔英語〕 はじめまして	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず
3	〔体育〕 ならびっこ かけっこ	なかよしタイム 〔図工〕 すきなものなかに	計測 なかよしタイム 〔音楽〕 手と手であいさつ 校歌 他	〔体育〕 月島グラウンドであそぼ う	なかよしタイム 〔音楽〕 手と手であいさつ ぞうさんのさんぽ 校歌
4	しんけんタイム 〔算数〕 10までのかず	〔体育〕 ならびっこ いろいろな走り方	〔道徳〕 ようこそ1年生	わくわくタイム 〔生活〕 あさがおさんとなかよし	わくわくタイム 〔図工〕 こいのぼりとかぶとをつ くらう
	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせ
下校	13：20	13：20	13：20	13：20	13：20

〔留意事項〕

☆音読カード、読書カード、今月の詩、なわとびカードの準備をする。

☆月島グラウンドで遊ぶ計画を立てる。

☆英語の準備をする。（JTE・ALTとの打ち合わせ、教材の準備など）

☆にこにこタイムを8時30分までにする。

☆連休前にあさがおを植える準備をしておく。

→種の観察カードの作成、植木鉢・土・ペットボトルじょうろに名前を書くなど

友達と仲良くできる。  
遊具を使って安全に遊ぶことができる。

国語	算数	生活	音楽	体育
5	4	1	1.7	3
図工	道徳	英語	学活	行事
2	1	1	0	1.3



にこにこタイム

グループ型の机の配置





# 付 録

## 幼稚園指導計画の見方

目指す幼児像にせまるための、幼稚園3年間の指導計画を作成しました。  
対話的な活動から主体性をはぐくむことにつながる活動の計画に特化して配列しました。  
また、それらの活動が、どの「対話を深めるツール」につながるかを明記しました。

**(期・ねらい)**  
「晴海幼稚園指導計画」のねらいを列挙しています。

**(目指す幼児像)**  
「9年間の学びのつながり (P 20, 21)」の目指す幼児像を挙げました。

**(援助のポイント)**  
「目指す幼児像」を実現させるための援助のポイントを挙げました。「期のねらい」に全てに対してではなく、その中から「目指す幼児像」に迫るもののみを考えました。

期	1期 (4月上旬から5月中旬)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生に親しみをもち、喜んで登園する。</li> <li>○目に付いた遊具や親しみのある遊具に触れながら遊ぶ。</li> <li>○幼稚園での生活の仕方を知り、安定して過ごせるようになる。</li> </ul>	
目指す幼児像	主体的に遊ぶ姿	・目に付いた遊具で遊んだり、気に入った場で過ごしたりする。
	目指す対話像	・教師に親しみをもち、登園を楽しみにする子
援助のポイント ●教師の援助 ☆環境構成	<p><b>目に付いた遊具で遊んだり、気に入った場で過ごしたりできるように</b></p> <p>☆家庭にあるような玩具を、十分な数や量用意する。<b>環境</b> 【電車の遊具、ミニカー、ブロック、コルク積木、ぬいぐるみ、抱き人形 など】</p> <p>☆幼児の目線の高さに遊具を置く。<b>環境</b> ☆遊具ごとにコーナーをつくり、遊具の遊び方が分かるように、遊びかけの状態にしておく。<b>環境</b></p> <p>☆絵本コーナーやソファなどの落ち着いて座れる場所を、他の遊びが見えるような向きで設定する。</p> <p>☆のびのびと体を動かせるように、廊下や保育室のスペースに運動遊びの場を設定する。<b>環境</b> 【巧技台、マット、ジャンプ、滑り台 など】</p> <p>●教師も一緒に遊びながら、幼児が楽しんでいることも把握し、幼児のしていることをつぶやいたり、楽しい気持ちを言葉にしたりする。<b>ペア</b></p> <p>●遊び出せない幼児には、何気ない会話や目線の動き、表情の変化を手掛かりに、興味のある遊具を見せたり、教師が遊んで見せたりする。<b>ペア</b></p>	
	<p><b>教師に親しみをもち、初めての集団生活を安心して過ごせるように</b></p> <p>●穏やかな声で一人一人の名前を呼んだり、身体に触れたり、話し掛けたりする。<b>ペア</b></p> <p>☆教師のしていることに興味をもてるように、人形で語り掛けたり手遊びをしたりする。<b>ペア</b> 【むすんでひらいて、ひげじいさん など】</p> <p>●泣いている幼児や不安そうな表情の幼児には、気持ちを落ち着けられるように、寄り添いながら、不安な気持ちを言葉にして受け止める。また、何気ない話をしたり、遊具を見せたりして、気持ちを切り替えられるようなきっかけをつくる。<b>ペア</b></p> <p>☆全体が見える位置に立ち、学級全体の様子を把握しながら、個々の幼児の変化にも気付けるようにする。<b>環境</b></p> <p>☆幼児の目線に合わせてしゃがみ、話し掛けたり話を聞いたりする。<b>ペア</b></p> <p>●集まったときには、笑顔で一人一人に視線を送り、ゆったりとした口調で語りかけ、温かい雰囲気を作る。<b>ペア</b></p> <p>☆年長児とペアを作り、朝の身支度、健康診断などに落ち着いて取り組めるようにする。<b>ペア</b></p>	

**(緑囲み)**  
具体的な援助が「対話を深めるツール」(P 24, 25)のどれに当てはまるかを記載しました。

# 中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（3歳児）

期	1期（4月上旬から5月中旬）	2期（5月中旬から7月中旬）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生に親しみをもち、喜んで登園する。</li> <li>○目に付いた遊具や親しみのある遊具に触れながら遊ぶ。</li> <li>○幼稚園での生活の仕方を知り、安定して過ごせるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生や身近にいる幼児と触れ合ったり一緒に遊んだりすることを楽しむ。</li> <li>○自分のしたい遊びや興味のある遊びを楽しむ。</li> <li>○自分の身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
目指す幼児像	<p>主体的に遊ぶ姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目に付いた遊具で遊んだり、気に入った場で過ごしたりする。</li> </ul> <p>目指す対話像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師に親しみをもち、登園を楽しみにする子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみたくて思ったことや面白いと感じたことをして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・自分もやってみたくて思ったことを表情や動き、言葉で教師に表す子</li> </ul>
援助のポイント （●教師の援助 ☆環境構成）	<p><b>目に付いた遊具で遊んだり、気に入った場で過ごしたりできるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆家庭にあるような玩具を、十分な数や量用意する。<b>環境</b> 【電車の遊具、ミニカー、ブロック、コルク積木、ぬいぐるみ、抱き人形 など】</li> <li>☆幼児の目線の高さに遊具を置く。<b>環境</b></li> <li>☆遊具ごとにコーナーをつくり、遊具の遊び方が分かるように、遊びかけの状態しておく。<b>環境</b></li> <li>☆絵本コーナーやソファなどの落ち着いた座れる場所を、他の遊びが見えるような向きで設定する。</li> <li>☆のびのびと体を動かせるように、廊下や保育室のスペースに運動遊びの場を設定する。<b>環境</b> 【巧技台、マット、ジャンプ、滑り台 など】</li> <li>●教師も一緒に遊びながら、幼児が楽しんでいることを把握し、幼児のしていることをつぶやいたり、楽しい気持ちを言葉にしたりする。<b>ペア</b></li> <li>●遊び出せない幼児には、何気ない会話や目線の動き、表情の変化を手掛かりに、興味のあるような遊具を見せたり、教師が遊んで見せたりする。<b>ペア</b></li> </ul>	<p><b>自分のしたいことや面白いと感じたことをして遊ぶことを楽しめるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分の気に入った場所や囲まれた空間など、個々の遊びを楽しめる場を作れるような遊具を用意する。<b>環境</b> 【ウレタン積み木、牛乳パック衝立、ジョイントマット など】</li> <li>☆落ち着いた自分の遊びをしたり、同じ遊びをする友達と一緒に過ごしたりできるように、乗り物や家などの遊びの場を提示したり、一緒に作ったりする。<b>環境</b></li> <li>☆身に付けるとそのつもりになって遊べる物や、遊びに使用したい物を簡単に作れる材料を用意する。<b>環境</b> 【スカート、エプロン、面バンド、広告棒、塗り絵 など】</li> <li>☆初めて扱う道具や用具に興味をもち、喜んで使って遊べるような教材を用意する。<b>環境</b> 【室内：個人クレパス、セロハンテープ、糊】 【戸外：巧技台、三輪車、砂場道具】</li> <li>●自分もやってみたくてという気持ちを実現できるように、思いを受け止め、一緒に遊んだり手伝ったりする。</li> </ul>
	<p><b>教師に親しみをもち、初めての集団生活を安心して過ごせるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●穏やかな声で一人一人の名前を呼んだり、身体に触れたり、話し掛けたりする。<b>ペア</b></li> <li>☆教師のしていることに興味をもてるように、人形で語り掛けたり手遊びをしたりする。<b>ペア</b> 【むすんでひらいて、ひげじいさん など】</li> <li>●泣いている幼児や不安そうな表情の幼児には、気持ちを落ち着けられるように、寄り添いながら、不安な気持ちを言葉にして受け止める。また、何気ない話をしたり、遊具を見せたりして、気持ちを切り替えられるようなきっかけをつくる。<b>ペア</b></li> <li>☆全体が見える位置に立ち、学級全体の様子を把握しながら、個々の幼児の変化にも気付けるようにする。<b>環境</b></li> <li>☆幼児の目線に合わせてしゃがみ、話し掛けたり話を聞いたりする。<b>ペア</b></li> <li>●集まったときには、笑顔で一人一人に視線を送り、ゆったりとした口調で語りかけ、温かい雰囲気を作る。<b>ペア</b></li> <li>☆年長児とペアを作り、朝の身支度、健康診断などに落ち着いて取り組めるようにする。<b>ペア</b></li> </ul>	<p><b>自分のしたいことを表情や動き、言葉で教師に表せるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●遊びの中で、状況に合った簡単な言葉のやりとりを知らせる。<b>ペア</b> 【貸して、いいよ、ありがとう、いってきます など】</li> <li>●幼児のやってみたくてという気持ちを表情や動きからくみ取り、何をして遊びたいか聞いたり一緒に遊んだりし、遊びの楽しさやうれしい気持ちを言葉にする。</li> <li>●絵本や紙芝居を通して、同じ言葉を繰り返したり、感じたことを言葉に出して表現したりするなど、簡単なやりとりをする。</li> </ul>
	<p><b>学級みんなで過ごすことが楽しいと感じられるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リズムカルな音楽で教師が楽しそうに踊る。 【かえるのみどりちゃん、ペンギンのプールたいそう など】</li> <li>●戸外では、教師と触れ合いながら体を動かすことを楽しむようにする。 【追いかっこ など】</li> <li>●弁当指導では、楽しい雰囲気を感じながら食事ができるように、ゆったりとした音楽をかけたり、教師の近くに座っている幼児と会話をしたりする。</li> <li>●カレーパーティーでは、年長児と一緒に会食をし、お礼の気持ちを表す言葉を伝えたり、会話を楽しんだりする。</li> </ul>	

- ・主体的に遊ぶ姿；自分の思いを出しながら十分に遊びを楽しむ。
- ・目指す対話像；自分の思いを安心して表すことができる子

3期（9月上旬から12月下旬）

4期（1月上旬から3月下旬）

- 興味のあることや友達がしていることを一緒に楽しむ。
- 先生や学級のみなどと一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 自分でできることは自分でしようとする。

- 気に入った友達や遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 自分なりの動きを出しながらみんなと一緒に過ごす楽しさを感じる。
- 自分でできることや気付いたことを自分でしようとする。

・興味のあることや身近な素材に関わって遊ぶことを楽しむ。

・思ったこと、感じたことを自分から表しながら遊ぶことを楽しむ。

・友達のしていることに興味をもち、思ったことや感じたことを教師や友達に表す子

・気に入った友達や、遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむ子

### 興味のあることや身近な素材に関わって遊ぶことを楽しむように

- ☆用意された素材の中から選んで使い、使ったり見立てたりして遊ぶことを楽しむように、素材ごとに分けたり、見えやすい置き方にしたりする。**環境**
- 【空き箱、京花紙、フェルト、スポンジ、秋の自然物 など】
- 素材を様々な物に見立てたり組み合わせたりする幼児の発想をそのまま言葉にする。**考える**
- ☆運動会の取り組みでは、年中長児の姿を刺激にして、自分もやってみたいという気持ちをもてるように、年中長児の活動が見えるような場で遊ぶ。また、年中長児が使っていた道具を借りたり、音楽を用意したりする。**環境**
- 【各学年のリズム、ポンポン、玉入れ など】
- はるみランドでは、教師が年長児の遊びに関わって楽しんだり、年長児の作った物や年長児がなりきって動く姿を言葉にしたりする。

### 思ったことや感じたことを教師や友達に表せるように

- 幼児が遊びに使いたい物を考えたり、必要な物を教師に伝えたりできるように、遊びのイメージを言葉にしたり、遊びの様子や幼児の要求に応じて必要な素材を提示したりする。
- 友達と同じようなものを身に付けたり、同じような動きをしたりする楽しさに共感する。
- 個々の遊びのイメージや思いを出して遊ぶことを楽しむように、思ったことや感じたことを言葉にする姿を受け止め、代弁したり反復したりする。
- 幼児の「見て」「できた」という姿やそれに伴う気持ちを受け止め、見守ったり共感したりする。
- ☆遊びの中で物の貸し借りができるようになるために、意図的に物の量を減らす。**環境**
- トラブルの場面では、思い通りにならない経験やいろいろな思いや考えがあることを感じられるように、解決を急がず、互いの思いを代弁したり、状況を分かりやすく知らせたりする。**ペア**

### 学級のみみんなで一緒にする活動を楽しむように **学級**

- 運動会の取り組みでは、みんなと一緒に同じ場所で走ったり、踊ったりする楽しさを感じられるように、個々のペースや楽しみ方を認める。
- ☆簡単なルールの中で自分の好きな動きを楽しむ教材
- 【むっくりくまさん、おおかみさん、いちごみるく など】

### 思ったことや感じたことを言葉にしなが、したい遊びができたうれしさを感じられるように

- 思いや考えを聞きながら、難しいところを手伝ったり、一緒に方法を考えたりする。**ペア**
- ☆自分のしたい遊びを簡単に実現できるような教材を用意する。**環境**
- 【マント、面バンド、動物のお面 など】
- いろいろな遊具や物を見立てて遊んでいる幼児の発想を受け止め、遊びの楽しさに共感する。
- ☆幼児が遊びに使いたい物や場を自分の思い通りに作れるように、遊具や用具、素材などを使いやすい状態で用意する。**環境**

### 気に入った友達や遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむように

- 一緒に遊びたい友達との間で自分の気持ちを出しながら遊びを楽しむことができるように、幼児の動きや言葉を受け止めて、認め励まし、仲立ちしたり代弁したりする。
- 自分の気持ちを受け止めてもらえた安心感や受け止めてくれた相手への信頼感をもち、もっと表現したいという意欲につながるように、幼児が自分なりの言葉で表現したときに、幼児のイメージを同じ言葉で受け止め、共感する。
- 友達との関わりや遊びの中でのトラブルでは、それぞれの幼児の気持ちを受け止めるように接し、気持ちを切り替えていけるようにしながら、相手の気持ちにも気付かせていく。**ペア**
- ☆友達の遊びや動きを見ることができたり、自分のしたい遊びをじっくりと行えたりするような雰囲気づくりや場づくりをする。**環境**

### 学級や学年の友達と触れ合いながら、みんなで一緒にする活動が楽しいと感じられるように

- ☆教師や友達と触れ合いがもてるような遊びを取り入れ、身体を動かす心地よさやみんなで遊ぶ楽しさが味わえるようにする。**環境**
- 【ロボット機関車、あたまであくしゅ など】
- 子ども会の取り組みでは、簡単なストーリーや繰り返しの表現を楽しむ中で、みんなで、または同じ役の友達と一緒に言葉を使う楽しさを感じられるようにする。**学級 グループ**

# 中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（4歳児）

期	5期（4月上旬～5月中旬）	6期（5月中旬～7月中旬）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境に慣れ、自分のしたい遊びを楽しむ。</li> <li>○前から知っている友達や新しい友達、先生と一緒に過ごしたり遊んだりすることを楽しむ。</li> <li>○新しい学級での生活の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のしたい遊びにじっくりと取り組んだり、繰り返し遊んだりすることを楽しむ。</li> <li>○先生や友達との関わりを楽しみながら遊ぶ。</li> <li>○学級での生活の仕方が分かり、自分なりに動こうとする。</li> </ul>
目指す幼児像	<p>主体的に遊ぶ姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に自ら働きかけ、好きな遊びを楽しむ。</li> </ul> <p>目指す対話像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前から知っている友達や新しい友達、教師と一緒に過ごしたり、遊んだりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな物に関わりながら、自分のしたい遊びを繰り返し楽しむ。</li> <li>・新しい学級の友達とのかかわりを楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>
援助のポイント （●教師の援助 ☆環境構成）	<p><b>新しい環境に慣れ、安心して過ごすために</b></p> <p>☆年少時に親しみ、扱い慣れている素材や教材を用意する。  <b>環境</b>  <b>【教材：面ベルト、小さい箱、広告紙を丸めた棒など】</b>            ☆好きな遊具や教材を取り出しやすいように、物の置き場所が分かるような表示をつける。<b>環境</b>            ●一緒に遊んだり、スキンシップをとったりするなど、教師との信頼関係を築く。<b>ペア</b>            ●学級替えや担任が変わったことによる戸惑いの気持ちを受け止めて、困っていることに手を貸したり、興味のあるものを探りながら一緒に遊びを見付けたりする。<b>ペア</b></p>	<p><b>自分の遊びが繰り返しできるように</b></p> <p>☆遊びのイメージをもってなりきりながら遊びを楽しめる遊具を用意する。<b>環境</b>  <b>【中型積み木、ごぎ、シート、エプロン、スカート、帽子、カセットデッキ など】</b>            ☆体を動かし、解放感を味わいながら自分なりに動くことを楽しめる教材を用意する。<b>環境</b>  <b>【巧技台、ぼっくり、しっぽ取り、鬼遊び など】</b>            ●教師も一緒に遊び、その面白さや楽しさを言葉や動きで表し、幼児が興味をもって取り組むことができるようにする。            ●一人一人の思いや試していることを言葉にして受け止め、受け止めてもらえた喜びを感じ、またやってみようとする気持ちをもてるようにする。<b>考える技法</b></p>
	<p><b>友達や教師と一緒に過ごしたり遊んだりして楽しむように</b></p> <p>☆年少時に親しんだ遊具を準備し、遊び出したくなるように、一目で分かるようなコーナーを設定しておくことで、友達との関わりが生まれるようにする。<b>環境</b>  <b>【ウレタン積み木、ままごと、製作 など】</b>            ☆友達のしている遊びに興味をもち、同じ物を持ったり、作ったりして真似して遊べるように、遊具や用具の種類や数を調整する。<b>環境</b>            ●教師と一緒に遊びの中に入り、遊んでいる姿を見守ったり、楽しい気持ちを言葉にして受け止めたりする。            ●友達と関わって遊んだり、真似したりできるように、友達の遊んでいる様子を言葉にししながら、周りの友達がどのような遊びをしているのか気付くことができるようにする。</p>	<p><b>友達とのかかわりを楽しみながら遊べるように</b></p> <p>☆自分たちで遊びの場を作ることができる教材を用意する。<b>環境</b>  <b>【中型積み木、ごぎ、シート、牛乳パック衝立 など】</b>            ☆それぞれの遊びにじっくりと取り組みながら、互いにどのような遊びをしているのか見えるように、場の構成をしたり、整理をしたりする。            ●教師も仲間になって遊びの場を作る。            ●自分の役になりきって、動いたり話したりして思いを表現しながら遊んでいる姿や、楽しい気持ちを言葉にして受け止める。            ●幼児の気持ちに寄り添う言葉掛けをし、安心感をもって自分の思いを出すことができるようにする。            ●自分の気持ちが言えなかったり、伝えられなかったりする時には、教師が代弁をしたり、言葉を補ったりして、橋渡しとなるように援助していく。<b>ペア グループ</b></p>
	<p><b>みんなと一緒に動くことで、安心できるように</b></p> <p>☆年少時に親しんでいた歌や踊り、ストーリーが分かりやすい絵本を用意する。<b>環境</b>  <b>【なかよしになるには、ぐりとぐら など】</b>            ●一人一人と顔を合わせながら、楽しい雰囲気をつくる。            ●行事や初めての経験では、緊張したり、不安になつたりしないように事前に活動内容を写真や絵表示を使いながら知らせ、期待がもてるようにする。</p>	<p><b>自分の動きを楽しんだり、つながりを感じたりするように</b></p> <p>☆自分なりの動きを出したり、友達と動きを合わせ開放感を味わったりできる音楽を用意する。<b>環境</b>  <b>【ザブザバン、じゃんぐるぐるぐる など】</b>            ●みんなと一緒に歌を歌ったり、絵本の面白さに共感したりする楽しさ、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</p>

- ・主体的に遊ぶ姿；遊びの目的をもち、自分の力を出しながら、進めていく。
- ・目指す対話像；相手の思いに気づきながら、自分の思いを伝えることができる子

7期（9月上旬～10月中旬）	8期（10月中旬～12月中旬）	9期（1月上旬～3月中旬）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりに考えたり工夫したりしながら、繰り返し遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○気の合った友達と関わりながら、自分のやりたいことを動きや言葉に出して遊ぶ。</li> <li>○生活に必要なことを思い出し、自分でしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のしたいことにじっくり取り組み、自分の思いを表現する楽しさを味わう。</li> <li>○気の合う友達と遊ぶ中で、友達を意識したり相手の気持ちに気付いたりする。</li> <li>○生活に必要なことに自分から取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの遊びの目的をもち、自分の力を出しながら遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○友達との遊びの中で自分の思いやイメージを出したり、相手の思いやイメージを意識したりしながら遊びを楽しむ。</li> <li>○学級や学年のみんなですることや生活に必要なことを意欲的に取り組む。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに考えたり工夫をしたりしながら、繰り返し遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びに繰り返し取り組み、自分の思いを実現していく楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの目的をもち、自分の力を出しながら進めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と遊ぶ中で、自分の思ったことや考えたことを動きや言葉に出して遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と遊ぶ中で、自分の思いを出したり、相手の思いに気付いたりしながら遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを出すとともに、相手の気持ちに気づきながら、自分たちの遊びを楽しむ。</li> </ul>

**自分なりに考えて遊ぶことができるように**

☆夏祭りやバーベキューなどの、夏休みの経験を生かしながら、幼児のイメージに合うようないろいろな素材や教材を用意する。**環境**

【カラービニール、毛糸、キッチンペーパー など】

- 自分なりに考えたり工夫したりして遊ぶ姿を言葉にして認めたり、思いを実現できた喜びを一緒に共有したりする。
- 幼児のイメージが実現できるように、様々な教材を提示したり、素材の使い方や特徴を知らせたりしていく。

**友達とかかわりながら、自分の思いを出せるように**

☆共通の話題がもて、遊びに発展する絵本を用意する。**環境**

【ぐりとぐらのかいたすいよく、ぼくキャンプにいったんだ など】

- 一人一人の動きを言葉にして受け止めたり、楽しい気持ちを一緒に感じたりしながら、自分の思いや考えを安心して出せるようにする。
- 思いのぶつかり合いの場面では、互いの気持ちを出させ、相手の表情や言葉から相手の気持ちに気付いていけるようにする。**ペア グループ**
- 自分の思いをうまく伝えられない幼児は、教師が気持ちを受け止めて仲介し、思いを出していけるようにする。**ペア グループ**

**みんなで一緒に動く楽しさを味わいながら自分の力が発揮できるように**

☆みんなで一緒にする楽しさを味わえるような音楽や遊びを用意する。**環境**

【きみにあえてうれしい、運動会の踊り、ドンジャンケン など】

- いろいろな場面を通して「みんなと一緒にやったから楽しかった。」という気持ちをもてるように、掛け声が揃ったところや動きが合ったことを認めたりしてつながりを感じられるようにしていく。
- ルールを守ってみんなで楽しく遊べるように、簡単なルールのある遊びを取り入れる。【しっぽとり、玉入れ など】

**自分の思いを実現していく楽しさを味わうために**

☆自分なりのイメージを実現するためのいろいろな素材を用意する。**環境**

【画用紙、折り紙、厚さの違う紙、モール、ビーズ、木の実 など】

☆自分なりに目的をもって取り組める遊びを用意する。**環境**

【登り棒、鉄棒、縄跳び、引きごま、ボール など】

- 幼児の思っていることやイメージに合った素材や用具に段階的に出会わせていく。
- 幼児の意欲や興味を把握しておき、取り組みの様子を捉えて認めたり、励ましたりして、力を発揮できるようにする。

**気の合う友達と思いを出して遊ぶ楽しさを味わえるように**

☆遊びのイメージが伝わりやすくなるように、身に付けたり、見て何をしているのかすぐ分かる物を作れる素材や教材を用意する。**環境**

【面ベルト：画用紙、輪ゴム、ステープラー 衣装：カラーポリ袋 など】

- 気の合う友達と遊んでいることが実感できるような言葉を掛けたり、見守ったりして、一緒に遊んだ満足感や、また遊びたいという気持ちをもてるようにする。
- 思いのぶつかり合いの場面では、自分の気持ちを言いながらも、相手の気持ちに気付くように教師が言葉で表したり、代わりに伝えたりする。**ペア グループ**

**みんなですることを楽しみ、友達の違いに目を向けていくように**

☆それぞれの思いやイメージを出せるような共通の経験や見通しのもてるような活動を用意する。

【年長児が踊っていたリズム、折り返しリレー など】

☆相手の動きを意識できる遊びをする。

【じゃんけん、助け鬼、2人組でダンス など】

- それぞれの興味や関心、個性や特徴を受け止め、他の幼児にも伝えるように紹介する。
- 学級全体で身体表現やリズム遊びを楽しむ機会を作り、みんなでやって楽しかったという気持ちをもてるようにする。**学級**

**目的に向かって、自分の力を出して取り組んでいくために**

☆冬休みに経験したと予想される遊びを用意する。**環境**

【かるた、引きごま、すごろく など】

☆少し頑張ればできるようになるものや、自分なりに取り組めるもの、技能にあったものを用意する。**環境**

【こま、フープ、あやとり、お手玉、短縄、大縄、ボールつき など】

- 一人一人の取り組みに応じて、目的をもてるように言葉を掛けたり、遊具を提示したりしながら、自分なりに挑戦する意欲を高めていく。
- 一人一人の取り組みを認め、周りの幼児にも知らせる機会を設け、できた喜びや友達に受け入れてもらう嬉しさを感じられるようにする。

**自分の思いを出し、相手の気持ちに気づきながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように**

☆友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられる遊びを用意する。**環境**

【かるた、すごろく、引きごま対決、助け鬼、しっぽ取り、転がし中あて など】

- 幼児同士の力関係に配慮しながら、それぞれの思いを出し、納得して遊びを進められるようにする。
- 友達と思いがつながる楽しさを感じられるような言葉を掛けたり、見守ったりする。
- 思いが通じ合わない時は、目的を具体的にしたり、方向性を示したりする。

**学級のつながりの中で自分の力を出す喜びを感じられるように**

☆学級のつながりを感じたり、みんなで一つのことをする楽しさを感じたりする遊びを用意する。**環境**

【歌、ラウンドチェーン、二人組のじゃんけん遊び、かごめかごめ、助け鬼 など】

☆それぞれの幼児の好きなことや得意なことが生かされるように、教材の内容や方法を考える。

- 学級全体でやることの目的や内容を具体的に知らせ、自分の力を出して取り組む喜びを感じられるようにする。**学級**
- 年長児への憧れから自分たちの生活に必要なことをしたり、進級への期待を感じられるようにしたりする。**グループ**

【お休み調べ、誕生会司会の引き継ぎ、お別れ会など】

# 中央区立晴海幼稚園 年間指導計画（5歳児）

期	10期（4月上旬～5月中旬）	11期（5月中旬～7月中旬）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境の中で自分なりに動きながら興味をもったり、友達とのつながりを楽しんだりする。</li> <li>○学級の課題が分かり、個やグループで取り組む楽しさを味わう。</li> <li>○年長組になった喜びを感じながら、新しい生活に慣れ、自ら行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもったことを試したり、工夫したりしながらじっくり取り組む楽しさを味わう。</li> <li>○友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思ったことや考えたことを出し合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。</li> <li>○学級のみんなで進めていく活動が分かり、課題に向けて個やグループで進めていく楽しさを味わう。</li> <li>○生活に必要なことに気付き自分たちでしていこうとする。</li> </ul>

目指す幼児像	主体的に遊ぶ姿	・年長組になった喜びを感じながら、新しい生活に慣れ、自ら行動しようとする。	・興味をもったことを試したり、工夫したりしながら、じっくり取り組むことを楽しむ。
	目指す対話像	・新しい環境の中で自分なりに動きながら、興味をもち、友達との関わりを楽しめる子	・友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思ったことや考えたことを出し合いながら、遊びを進めていける子

## 年長組としての喜びを感じていけるように

- ☆年長組になり、使えるようになった場や遊具に自分から自由に関わっていくことができるよう、目につきやすい場所に配置したり、分類したりする。**環境**
- それぞれの幼児が新しい環境や友達に関わっている姿や戸惑い、喜びの気持ちを受け止め、安心して動けるようにしていく。
- 新しい遊具の安全な扱い方を知らせ、十分に遊べる時間を確保する。
- 【大型積み木、キングブロック など】
- ☆物の置き方や片付け方などの環境を幼児と一緒に考え、生活の場を自分たちでつくっているという意識をもてるようにする。
- 【遊具の表示作り、ロッカーのマーク作り など】
- 年少児や年中児の世話をしたり、気遣ったりしている具体的な姿を認めることで、関わり方を知らせる。

## 自分なりに動きながら、友達との関わりを楽しめるように

- ☆年中時に楽しんでいた遊びや気の合う友達と安心して取り組める遊具を用意する。
- 【中型積み木、ままごと、カブラ など】
- 教師も一緒に動きながら遊びの進め方を伝え、それぞれの幼児の楽しみ方を受け止めながら、友達と一緒に動く楽しさに共感していく。

## グループでの活動に安心して取り組めるように

- ☆少人数で相談しやすいグループ構成にする。
- 幼児一人一人が思いを出せるように教師が仲介したり、思いを引き出したりする。**ペア グループ**
- 自分の思いや動きを出し合う姿を認め、友達との関わりを丁寧に見守り、友達とのつながりが深まっていくようにする。
- 【誕生表やこいのぼりの製作、誕生会や離任式の司会、当番活動 など】
- 当番や係などの進め方や言葉については、年中時の引き継ぎを思い起こさせながら、幼児が無理のない形で取り組めるようにする。
- グループの友達と関わる楽しさを味わえるような遊びを取り入れる。
- 【グループじゃんけん など】

## 興味をもったことを試したり、工夫したりし、じっくり遊びに取り組めるように

- ☆試したり工夫したりすることができる素材や遊びを用意する。**環境**
- 【シャボン玉、色水遊び、砂場遊び、船作り など】
- ☆友達の姿が見えるような机の配置をし、友達の姿をきっかけにしながら遊びが広がっていくようにする。
- 幼児が自分なりに試したり工夫したりする過程を見守ったり、一緒に考えたりする。
- できるようになった喜びに共感し、認めることでやってみようとする気持ちを引き出す。

## 自分の思ったこと考えたことを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わえるように

- ☆共通のイメージで遊びにつながる絵本を用意する。**環境**
- 【わんぱくだんシリーズ など】
- 幼児の興味に応じて、イメージを実現できるような手だてと一緒に考えたり、他児の考えに気付かせたりする。**グループ**
- ルールのある遊びに取り組む中で、遊び方が分かり友達と相談して遊ぶ楽しさを感じられるようにする。**グループ**
- 【ドッジボール、しっぽ取り、リレー など】
- 自分と違う思いや考え方に気付き、自分の思いを出せるように言葉を掛ける。**グループ**

## 学級の課題に向けて個やグループで取り組む楽しさを味わえるように

- ☆自分たちの生活に見通しがもてるように、一日の予定表や時計を掲示する。**環境**
- 友達と声を掛け合って進める姿を認め、学級としての意識やつながりが育つようにする。
- 誕生会の司会や当番活動などは、話し合いの場を作り教師も入って相談にのりながら援助し、自分たちで進めているという喜びの気持ちをもてるようにする。**グループ**
- グループ内の力関係を把握し、必要に応じて幼児の気持ちを代弁したり、相手の動きに気付かせたりして、互いの気持ちや考えに気付くことができるようにする。**グループ**

援助のポイント（●教師の援助 ☆環境構成）

- ・主体的に遊ぶ姿;友達とのつながりの中で刺激を受けながら、自分の目的に向けて力を発揮して実現していく。
- ・目指す対話像;自分の考えを相手に分かるように伝えることができる子

12期 (9月上旬~10月中旬)	13期 (10月中旬~12月中旬)	14期 (1月上旬~3月中旬)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達との遊びの中で互いにイメージを出し合いながら、遊びの方向を探ったり、目的をもったりする。</li> <li>○学級の友達と共通の目的に向かって取り組み、自分の力を発揮する楽しさを味わう。</li> <li>○園や学級です活動の中で友達と力を合わせやり遂げた満足感を味わう。</li> <li>○自分たちの生活に見通しをもって必要なことに気付いて自分たちで進めていこうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びの中で共通の目的に向かって友達と考えを出し合ったり力を合わせたりして、協力していく楽しさややり遂げていく満足感を味わう。</li> <li>○その子らしさを受け止めて力を合わせたりつながりを深めたりしながら園や学級の課題をやり遂げるようになる。</li> <li>○生活の流れに見通しをもち、その場にふさわしい行動を考えていくようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その子らしさが分かり、認め合ったり受け入れあったりしながら共通の目的をもって遊びを進める。</li> <li>○学級全体の活動の中で、互いの持ち味を發揮し認め合いながら協力して進めていく満足感を味わう。</li> <li>○生活に見通しをもち、楽しみながら進めていき充実感を味わう。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の友達と共通の目的に向かって取り組み、自分の力を発揮することを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に向けてすることが分かり、認め合ったり、協力したりする中で自分の力を発揮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とのつながりの中で刺激を受けながら、自分の目的に向けて力を発揮して実現していく。</li> </ul>
--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との遊びの中で互いにイメージを出し合いながら、目的をもって遊べる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の目的に向かって、友達と考えを出し合い、協力しながら遊びを進める中で、友達によさに気付くことができる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに認め合いながら、自分の考えを相手に分かるように伝えることができる子</li> </ul>
--	--	---

<p><b>学級の友達と共通の目的に向かって取り組み、自分の力を発揮することを楽しくるように</b></p> <p>☆試したり工夫したりして自分の力を発揮していく遊び、遊具を提示する。<b>環境</b></p> <p>【固定遊具、縄跳び など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一人一人が力を発揮している姿や、周りの友達の頑張っているところに気付くように具体的に言葉で認め、目的に向かって力を発揮して取り組む楽しさを友達と共有できるようにする。</li> <li>●目的に向かって力を発揮する中で、相手やチームを意識できるような言葉を掛ける。【リレー、ドッジボール など】</li> </ul>	<p><b>自分なりの課題に意欲的に取り組めるように</b></p> <p>☆めあてがはっきりもてる遊具やめあてを具体的に意識できる教材を提示する。<b>環境</b></p> <p>【短縄、固定遊具、ボール、投げごま、チャレンジカード、あやとり、けん玉 など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児なりに頑張る姿を見逃さず、具体的な言葉で認め、励ましていく。また、諦めずに繰り返す大切さを知らせる。</li> <li>●できるようになって嬉しい気持ちを十分に受け止め、友達に知らせる機会を設けることで、みんなで喜び合える雰囲気を作る。<b>学級</b></li> </ul>	<p><b>自分なりの課題に向かって試したり工夫したりして取り組み、やり遂げる喜びを味わうために</b></p> <p>☆先行経験を生かしながら、目的をもって作ったり、本物らしく作ったりできるような題材や素材を選ぶ。</p> <p>【こども会の衣装や道具、凧、鬼の面、ひな人形など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれの幼児が工夫しているところを認め、周りの幼児に知らせることで、互いに刺激を受けながら作ることができるようにする。</li> </ul>
<p><b>互いの考えを出し合いながら次第に共通の目的やイメージを実現していくために</b></p> <p>☆夏休みに経験したことを再現できるようにする。</p> <p>【縁日、キャンプ、釣り、なつのおりの活用 など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●絵本を読んだり、共通の体験をしたりすることで、一人一人がイメージをもち出し合うことができるようにする。</li> <li>●遊ぶ中で目的やイメージが共通なことに気付かせ、一緒に実現していく楽しさが味わえるようにする。</li> <li>●チームで取り組む運動遊びの中で、自分の力を発揮できた喜びや楽しさを教師が受け止め、友達と共感したり、つながりを感じたりできるようにする。<b>グループ 学級 振り返り</b></li> </ul>	<p><b>友達と考えを出し合いながら協力していく楽しさややり遂げた満足感を味わうために</b></p> <p>☆運動会や遠足など共通の経験を遊びに生かすことができる遊具や素材を準備する。<b>環境</b></p> <p>【運動会の音楽、ポンポン、リングバトン、ピブス、芋づるリース、秋の自然物 など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちで遊びを進める姿を見守りながら、トラブルが起きたときはみんなで話し合う機会を設けたり、周りの幼児の意見を取り入れたりして自分たちで解決していけるようにする。<b>グループ</b></li> </ul>	<p><b>その子らしさが分かり、認め合いながら共通の目的をもって遊び進められるように</b></p> <p>☆一人一人のよさや得意なこと、その子らしさを遊びや生活の場面で認める機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師が一人一人の思いを受け入れ、一緒に考えたり、遊びに生かしたりすることで、自信をもったり、互いにそのよさに気付いたりできるようにする。<b>グループ 学級</b></li> </ul>
<p><b>園や学級の課題を個やグループで受け止め、友達と力を合わせてやり遂げていくために</b></p> <p>☆課題の内容がはっきりしていて、分担したり協力したりしやすく、見通しがもちやすいものを提示する。<b>環境 考える 振り返り</b></p> <p>【運動会までの予定表、係活動、グループでの身体表現 など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループや係で取り組む中で自分のことが分かって、自分たちがやっていく気持ちで取り組めるようにする。<b>グループ</b></li> <li>●一人一人のしていることが生かされ、自分の力をみんなの中で出せた喜びや、友達と一緒にやり遂げた満足感が十分に味わえるようにする。<b>グループ 学級</b></li> </ul>	<p><b>その子らしさを受け止めて力を合わせたり、つながりを感じたりして取り組む喜びを味わうために</b></p> <p>☆課題を具体的な形で共有し、見通しをもって進められるようにする。<b>振り返り 考える</b></p> <p>【運動会やはるみランドまでの計画表、他グループがしていることや進め方を知る機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれの興味や方向性、人数、力関係に配慮しながらグループを編成する。<b>グループ</b></li> <li>●目的や進め方が分からなかったり、活動が進まなかったりするグループの幼児の考えや進め方を整理し、自分たちで解決できるような道筋をつける。<b>グループ</b></li> <li>●運動会の応援やリズムを他学年に教えたり、はるみランドに招待したりする中で、関わり方を一緒に考え、年長組として自分の力を発揮できた喜びに共感する。</li> <li>●小学校との交流やみんなで遊ぼうでは、事前に職員間で打ち合わせをし、親しみをもてる遊びや内容を工夫する。</li> </ul>	<p><b>修了を意識し小学校への関心と期待をもって生活するために</b></p> <p>☆一日の活動の流れ、時計などを掲示し、自分たちで考えながら遊びや生活を進められるようにする。<b>環境</b></p> <p>【カレンダー、時計、一日の予定 など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3年間を振り返りながら、楽しかったことやできるようになったことを話し合い、一人一人が自分の成長に気付くことができるようにする。<b>振り返り</b></li> <li>●誕生会の司会や係活動を年中児に引き継ぐ機会を設け、年中児の取り組みを応援する姿を認める。<b>グループ</b></li> <li>●こども会など長期的に取り組む活動に単元の視点を取り入れ、活動全体のねらいの達成のために日のねらいを細分化し積み重ねていく。</li> <li>●第一学年の授業見学や交流給食を行ったり、就学に関する絵本を読み聞かせたりすることで、就学後の生活を具体的にイメージできるようにする。</li> </ul> <p>【1ねんせいのがっこうたんけん、1ねんせいになったから、しょうがっこうへいこう など】</p>

付  
録





# 中央区立月島第三小学校 生活科・総

		4月	5月	6月	7月	9月
生活科		がっこうとなかよし	がっこうとなかよし	がっこうとなかよし いきものとなかよし	いきものとなかよし なつとなかよし	いきものとなかよし なつとなかよし こうえんとなかよし
関連 他教科	1年生	《国語科》 ・どうぞよろしく ・なんていおうかな ・こんなものみつけたよ 《体育科》 ・たのしくあそぼう ・おにあそび 《音楽科》 ・うたっておどってなか よくなろう 《道徳科》 ・よりよい学校生活 ・集団生活の充実 《特別活動》 ・自分の組や使う場所を 覚えよう ・教室での過ごし方	《国語科》 ・ききたいな ・ともだちのはなし 《体育科》 ・こていしせつあそび 《図画工作》 ・みてみてあのね 《道徳科》 ・節度節制 《特別活動》 ・気をつけよう学校の 行き帰り	《国語科》 ・わけをはなそう 《図画工作》 ・あじさいをつくろう 《道徳科》 ・自然愛護 《特別活動》 ・係を作ろう 	《国語科》 ・すきなもののなかに 《体育科》 ・水あそび 《図画工作科》 ・すなやつちとなかよし 《道徳科》 ・節度節制 《特別活動》 ・もうすぐなつやすみ	《国語科》 ・ききたいな、 ・ともだちのはなし 《算数科》 ・なんじなんじはん 《体育科》 ・かけっこ ・リレーあそび 《道徳科》 ・自然愛護 ・生命の尊さ ・善悪の判断、自由 《特別活動》 ・規律、自由と責任
生活科	2年生	春だ 今日から2年生 大きくなあれ わたしの野さい	大きくなあれ わたしの野さい どきどきわくわく まちたんけん	どきどきわくわく まちたんけん 生きものなかよし 大作せん	生きものなかよし 大作せん	うごく うごく わたしのおもちゃ
関連 他教科	2年生	《道徳科》 ・自然愛護 ・よりよい学校生活	《国語科》 ・かんざつ名人になろう 《算数科》 ・長さのたんい	《国語科》 ・ともだちをさがそう	《国語科》 ・こんなもの、見つけ たよ ・ともだちをさがそう	《国語科》 ・おもちゃの作り方を せつ明しよう 《図画工作科》 ・ストローでこんにちは
総合的な 学習の時間	3年生	〔食育・環境〕 おいも博士になろう！ 25時間 さつまいもの苗植え体験→さつまいもについて知ろう（種類・栽培・料理） →幼稚園児にさつまいもの事を教えよう→一緒に収穫祭！〈交流〉幼稚園				
関連 他教科	3年生	《国語科》・「気持ちをこめて『来てください』」 ・「はじめて知ったことを知らせよう」		《理科》・植物の育ち方 《道徳科》・思いやりの心「やさしい人大さくせん」		
総合的な 学習の時間	4年生	〔福祉〕 あたたかい町へ 25時間 バリアフリー→体験→晴海の町の工夫→発信			〔地域〕 自慢の町・中央区！ 25時間 後藤新平について社会科で知る→中央区	
関連 他教科	4年生	《道徳科》・福祉		《体育科》・パラスポーツ		《社会科》・後藤新
総合的な 学習の時間	5年生	〔環境・地域〕 月島エコタウン 25時間 リサイクルとは？→中央区の取り組み→自分ができることを発信				〔キャリア・も 就学時健診の
関連 他教科	5年生	《算数科》・割合		《家庭科》・整理・整頓で快適に		《体育科》・心の発達
総合的な 学習の時間	6年生	〔地域・伝統〕 晴海・月島 今昔物語 35時間 江戸時代の晴海・月島を知る→草市の始まりを知る→草市に参画 〈交流〉幼稚園（年少、年中、年長）				
関連 他教科	6年生	《国語科》・「私たちにできること」 ・「聞いて、考えを深めよう」			《社会科》・歴史	

付  
録

# 合的な学習の時間と他教科横断計画

10月	11月	12月	1月	2月	3月
こうえんとなかよし あきとなかよし	あきとなかよし	かぞくとなかよし	ふゆとなかよし	もうすぐ2ねんせい	
《国語科》 ・ともだちのこと しらせよう ・よこがきのかきか た、しらせたいな 見せたいな 《算数科》 ・10より大きいかず 《道徳科》 ・規則の尊重、善悪の 判断（みんなで使う 物、場所）	《国語科》 ・ともだちのこと しらせよう ・よこがきのかきか かたしらせたい な見せたいな 	《国語科》 ・ともだちのこと しらせよう、よ こがきのかきか た ・ねんがじょうを かこう 《道徳科》 ・家族愛 《特別活動》 ・もうすぐふゆや すみ	《国語科》 ・ともだちのことし らせよう ・よこがきのかきか た 《英語活動》 ・日本の文化 《音楽科》 ・日本のうた	《道徳科》 ・もうすぐ2ねんせい 《国語科》 ・いいこといっぱい1ねんせい 《特活》 ・おわかれおたのしみか いのけいかくをたてよ う 《英語活動》 ・1ねんがんのまとめ 《体育科》 ・うんどうとあなたのから だ 	
みんなでつかう まちのしせつ	もつとなかよし まちたんけん	つたわる広がる わたしの生活	あしたへジャンプ		
《国語科》 ・ことばでみちあんない ・そうだんにのってください	《国語科》 ・メモをとるとき 《道徳科》 ・国や郷土を愛 する態度	《国語科》 ・こんなもの、見 つけたよ 《道徳科》 ・感謝	《国語科》 ・すてきなところをつたえよう 《道徳科》 ・個性の伸長・感謝・命の尊さ		
(年長)	〔伝統・食育・栽培〕晴海産大豆を育てよう！ 35時間 国語から導入→大豆を育ててみよう→社会科から →昔の道具を使ってみよう→（茶道体験）→きなこ餅作り（すりこぎ&七輪）				
	《国語》・「すがたをかえる大豆」 《社会》・「くらしのうつりかわり」 《理科》・野菜を育てよう！ ・「食べ物のひみつを教えます」 ・むかしの道具				
の自慢できるポイントを探す→発信			〔キャリア〕10時間 自分10年史 		
新平の業績	《図画工作科》・夢のまち		《特別活動》・10歳おめでとう！ 《音楽科》・歌唱で伝える気持ち		
のづくり] 幼稚園の先生にチャレンジ！ 35時間	ために年長さんを知ろう→幼稚園・保育園の先生に就任→6年生として1年生を迎える準備をしよう〈交流〉幼稚園（年長）				
	《国語科》・よりよい学校生活のために 《行事》・就学時健診		《図画工作》・わくわくプレイランド 《道徳科》・バトンをつなげ		
	〔キャリア〕マイロード → 今自分ができること 25時間 ・自分計画→就きたい仕事 ・夢→仕事 ・夢を叶えるための計画 ・職業体験・卒業に向けて				
	《国語科》・「みんなで楽しく過ごすために」 ・「今、私は、ぼくは」		《道徳》・夢を持つこと 		

# 令和3年度 中央区立晴海幼稚園・中央区

	学年	4月	5月	6月	7月	9月
近隣保育所				6年⇨近隣保育所・こども園 我が町晴海プロジェクト (近隣保育所・こども園)		
晴海幼稚園	年少	年少⇨年長 幼稚園へようこそ 年長児と遊ぶ。身支度等を一緒に行う。			年少・年中・年長 カレーパーティー  年長児が準備・カレー作りを行い、年少・年中児と一緒に食べる。	
	年中					
	年長	年少⇨年長 幼稚園へようこそ 年少児の世話や手伝いをする。	年長⇨3年 さつまいもの苗植えのお願い	6年⇨年長 我が町晴海プロジェクト (草市に参画)		1年⇨年長 がっこうとなかよし 学校探検で学んだことをクイズにして伝える。
月島第三小学校	1年	1年⇨2年 あさがおさんとなかよし	1年生ようこそ！ 1年生を迎える会に向けて			
	2年	年生のときに採ったあさがおの種をもらう。				
	3年			年長⇨3年 さつまいもの苗植え (柏学園)		
	4年					4年⇨5年 臨海学校に行こう 4年生との宿泊の違いや海での注意などを知る。
	5年					
	6年	1年⇨6年 ようこそ小学校へ			6年⇨近隣園児 我が町晴海プロジェクト (草市に参画)	

付録

# 立月島第三小学校・近隣保育所 交流計画

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>近隣保育所・幼稚園・こども園⇨1年 みんなで遊ぼう 交流・授業見学</p>	<p>5年⇨近隣保育所・こども園 保育所の先生にチャレンジ</p>				<p>年長⇨1年 ようこそ月三小へ (近隣保育所・こども園)</p>
<p>年少・年中・年長 運動会・事後活動</p> <p>リズムや競技、係活動を教え合う。</p>	<p>あきとなかよし 自然物を使った遊びを教わる。</p>	<p>こども会</p> <p>劇や合奏を見せ合う。</p>	<p>年少・年中・5年⇨年長 はるみランド</p> <p>年長児がコーナーをつくり、年少・年中・5年生を招待する。</p>	<p>年少・年中⇨年長 お別れ会</p> <p>年中児が中心となり、お別れ会を開く。</p>	
	<p>近隣保育所・幼稚園・こども園⇨1年 みんなで遊ぼう 交流・授業見学</p>		<p>年長⇨1年 年中⇨1年 1年⇨2年</p> <p>昔遊び名人になろう！</p> <p>けんだま お手玉 あやとり だるまおとし めんこ こま おはじき</p>	<p>年中⇨年長 当番引き継ぎ</p> <p>年長児が当番活動や誕生会の司会を年中児に引き継ぐ。</p>	
<p>年長⇨3年 さつまいも堀り</p>	<p>年長⇨5年 幼稚園の先生にチャレンジ！ 5年生がつくったコーナーで遊ぶ</p>				<p>1年⇨年長 ようこそ月三小へ</p>
<p>1年⇨年中 こうえんとなかよし 公園探検から見付けたお気に入りの伝える。</p>	<p>あきとなかよし</p> <p>近隣保育所⇨1年 みんなで遊ぼう</p>				<p>1年⇨5年 ⇨6年生 6年生ありがとう！ 6年生を送る会に向けて</p>
<p>年長⇨3年 さつまいも堀り</p>	<p>3年⇨4年 初めての宿泊行事</p> <p>4年生で行く初めての宿泊授業についてや現地での学びについて知る。</p>	<p>4年 国語科 冬のたのしみ カルタ遊び</p>		<p>3年⇨4年 高学年のスタート</p> <p>クラブ活動など学校のために動くことについて交流する。</p>	<p>4年⇨5年 学校を支えていこう</p> <p>来年度始まる委員会について、仕事内容や担当頻度などについて交流する。</p>
<p>5年⇨年長 保育所・幼稚園の先生にチャレンジ！ 就学時健診→保育所・幼稚園の先生になる！ →1年生を迎える準備</p>			<p>年長⇨5年 はるみランド</p> <p>年長児がコーナーをつくり、5年生を招待する。</p>	<p>5年⇨6年 バトンを受け継ごう</p> <p>6年生としての姿や活動について交流する。</p>	
		<p>5年⇨6年 富士山に登ろう 最高学年として最後の宿泊行事について知る。</p>			



第5学年 総合的な学習の時間「幼稚園の先生にチャレンジ！」  
幼稚園5歳児との交流活動



# DVD チャプター

## オープニング

### 第1章 幼児教育と小学校教育、相互の理解促進のために

- ・幼児教育と小学校教育の接続を推進する上での課題と、解決のための管理職の役割について考えます。

### 第2章 幼稚園教員と小学校教員が相互理解するために

- ・相互理解を深める3つのステップを紹介します。

### 第3章 子どもの発達や学びをつなぐ～実践事例～

- ・子どもたち同士の対話を深めるための、4つのツールを紹介します。

### 第4章 研究主題にせまるための実践事例

- ・幼児と児童の互恵性のある交流活動について紹介します。

### 第5章 接続カリキュラムの実践

- ・5歳児終わりの教育課程から、小学校入学当初の教育課程への円滑な接続について、幼児の活動と小学校の環境づくりを紹介します。

### 第6章 成果とまとめ

- ・研究の成果や今後の展望について、幼稚園、小学校の研究主任、前PTA会長、校長、園長が語ります。

企 画	中央区教育委員会
講 師	松蔭大学 教授 山下 文一
講 師	聖徳大学 教授 河合 優子
研究協力園	中央区立晴海幼稚園
研究協力校	中央区立月島第三小学校